19日の開会式で最後に入場行進する韓国選手団

36競技439種目で熱闘

仁川アジア大会　45カ国・地域参加

10月4日まで

第17回アジア競技大会は、19日に仁川のアシアードメイン競技場で開会式を行い、10月4日まで16日間の熱闘に入った。

韓国でのアジア大会開催は1986年のソウル大会、2002年の釜山大会に続き3回目。開会式にあわせ各地民団も参観団を派遣した。

「平和の息吹、アジアの未来」をテーマとした今大会には、アジア・オリンピック評議会（OCA）加盟全45カ国・地域から選手や役員1万5000人余りが参加。28の五輪正式競技に野球、ボウリング、クリケット、カバディ、空手、セパタクロー、スカッシュ、武術太極拳を合わせた36競技439種目で熱戦を展開する。

韓国は全競技に選手831人・役員237人の計1068人が出場、金メダル90個以上を獲得し、5大会連続の総合2位を目指す。14競技に273人の選手が出場する北韓は、12年ぶりのトップ10入りをねらっている。

大会第5日の23日現在、韓国は金19、銀19、銅21で総合2位を維持した。中国が1位、日本が3位となっている。

ヘイトS対処果敢に

法規制求め要望活動

国連委の対日勧告踏まえ

後半期全国地方団長会議

民団中央本部は17日、韓国中央会館（東京都港区南麻布）で2014年度後半期全国地方団長・中央傘下団体長会議を開き、今年度前半期の活動を総括し、後半期の主要活動について検討・確認した（写真）。在日韓国人らに対するヘイトスピーチ（憎悪表現）問題については、国連人種差別撤廃委員会（ジュネーブ）が日本政府に対して「毅然と対処」し、法律で規制するよう勧告したのを踏まえ、民団としても、その法制化を求める運動を推進することを確認し、中央と地方が力を合わせて全国要望活動を行うことにした。

呉公太中央本部団長はあいさつで、ヘイトスピーチ根絶に向けた民団中央本部人権擁護委員会メンバーらからなる陳情団のジュネーブ派遣の成果を強調、引き続き活動を強化することを呼びかけた。

また、「在日同胞を取り巻く環境には依然厳しいものがある」と指摘し、もう一つの懸案である韓日関係について、「来年の韓日修好50周年に向けて、両国関係の修復・発展へいっそう力を尽くさなければならない」と表明。民団再生、次世代育成、韓日友好増進の3大運動の徹底へ忌憚のない意見交換を要望した。

参席した柳興洙駐日大使は激励辞で、在日同胞と民団について「6・25韓国戦争、IMFアジア通貨危機などわが国が厳しい時に支援し、またソウル五輪、サッカー・ワールド杯共催成功などにも寄与してくれた。どれだけ故国を愛し、労苦をともにし貢献してくれたことか。この場を借りて感謝を表明したい」と強調した。

柳大使は最近の韓日関係について「厳しく難しい時機に大使に着任した。両国関係には良い時も悪い時もある。良くない関係が継続してはならない。来年の修好50周年が新たな出発になるよう尽力する。皆さんも両国関係の改善・発展へ知恵を集めて協力してほしいと要請すると同時に、「同胞社会の中心である民団の役割」への期待を改めて表明した。

会議では前半期の主要活動の報告および団務示達を受け、重点方針具現へ質疑応答と意見交換が行われた。

「長崎韓国人原爆犠牲者慰霊碑」建立が当初の予定より遅れていることについては、金亨道長崎県本部団長から説明が行われた。

団務示達では、在日学徒義勇軍戦没者慰霊忠魂碑の建立（韓国中央会館前）に伴う慰霊祭および除幕式の10月3日実施が報告された。

最後に、ヘイトスピーチ対策を重点的に協議した。まず国連人種差別撤廃委員会の日本人権状況審査に先立ち、NGO団体が主催した同委員会委員らへの説明会で上映した「ヘイトスピーチ・デモ」DVD（5分余）を上映。

続いて陳情団のジュネーブでの活動について、人権擁護委員会の李根茁委員長から報告を受けた。

会議では、国連人種差別撤廃委員会で日本政府に対して「毅然と対処して法律で規制するよう」促す厳しい勧告が出されたのを踏まえ、在日韓国人らを標的としたヘイトスピーチおよび街宣活動を犯罪行為として禁止し、処罰する法律の制定を求める要望活動を全国的に展開することを確認した。

MINDAN
民団新聞

在日本大韓民国民団 機関紙
民団新聞社　発行人　呉 公 太
発行所：〒106-8585東京都港区南麻布1-7-32
TEL 03(3454)4611　FAX 03(5419)7555
郵便振替口座 00160-6-52652
ソウル事務所：〒100-021 ソウル特別市中区明洞1-1-3
大韓YWCA会館310号
TEL 02(734)1164　FAX 02(734)1185

在日本大韓民国民団 綱領

一、우리는 大韓民国의 国是具現을 期한다.
二、우리는 在日同胞의 人権擁護를 期한다.
三、우리는 在日同胞의 経済発展을 期한다.
四、우리는 在日同胞의 文化振興을 期한다.
五、우리는 日本地域社会의 発展을 期한다.
六、우리는 世界平和와 国際親善을 期한다.

購読および広告掲載の申込み・お問い合わせ
TEL 03(3454)6375 FAX 03(5419)7555
購読申請・住所変更は下記サイトからもできます。
民団の公式サイト（韓・日・英語版）
http://mindan.org
携帯サイト
http://mindan.org/m
QRコード

今号の読みどころ

10回目の韓日祝祭「継続は力」示す

ソウルのCOEX展示場で14日に開かれた「ハンマダン2014」は、昨年を上回る約5万人が来場、盛況だった。09年からは日本でも開催。（2面）

松代大本営も「強制的に」を隠す

長野市松代町の松代大本営象山地下壕建設工事に韓半島から動員された史実についての市の対応に民団長野も抗議した。（4面）

韓国中央会館で統一政策研修会

統一教育院

統一部統一教育院による2014日本地域巡回統一政策研修会が18日、韓国中央会館（東京都港区南麻布）で実施され、第19期海外統一教育委員の日本地域代表である韓在銀民団中央本部監察委員長ら約50人が参加した。

統一教育院の金龍圭開発協力部長が「韓半島統一時代のための準備と課題」と題して、韓半島統一のビジョン（統一認識に関する調査、統一はなぜしなければならないのか）、課題（南北関係の二重性および特殊性、民族共同体統一方案、朴槿恵大統領のドレスデン宣言、朴大統領の8・15慶祝辞、統一準備委員会）、統一を正しくみる観点の転換の必要性、海外統一教育委員の現況および役割――などについて説明した。

6団体に助成金伝達

文化芸術活動支援

2014年度民団文化芸術活動助成事業の一環として支援の決まった6団体（一般）への助成金伝達式が17日、韓国中央会館での2014年度後半期全国地方団長・中央傘下団体長会議の場で行われた。

呉公太中央本部団長から、韓鉉楽・滅紫月（張理香）、鄭愛鎮韓国舞踊研究所（鄭愛鎮）、韓国伝統芸術Project（高庚範）、（社）民族音楽院日本支局（李昌燮）、金順子韓舞楽芸術団（金順子）の代表者らに助成金（30万円～90万円）が手渡された。

「在日の権益伸長に尽力」

韓日関係について柳大使は、「難しい時期にあるのは事実だが、両国が知恵を集め賢明に克服するならば、むしろ新たな跳躍の機会とすることができる」とし、「人権尊重と市場経済、自由民主主義など基本的価値観を共有する重要な隣国である。文化的にも非常に近い国であり悠久な交流の歴史を持つ両国間関係の発展潜在力は無限にある」と強調した。

柳大使は「韓日関係の正常化は、日本で暮らす同胞の生活にも直結する重要な課題だ」とし、「信頼に基づいた韓日関係の安定的発展のために、日本政府および社会各界各層の指導者と会い、また多様な日本国民とも接触して虚心坦懷に意見を交換し、両国がともに発展できるような基盤をひとつずつ着実に築いていきたい」と力強く表明した。

同時に「在日同胞の生活便宜、権益、幸福、繁栄のために最善を尽くす。皆さんの地位を高め、在日同胞としてプライドをもち生活できるよう尽力する」と約束した。

次号は10月8日付

未来志向関係へ期待

朴大統領　安倍首相の信書受け

民団中央本部主催歓迎会で森喜朗・元日本首相と握手する柳興洙大使（右）

朴槿恵大統領は19日、青瓦台で日本の森喜朗元首相と会談し、安倍晋三首相の親書を受け取った。森氏は2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会会長として、同日の仁川アジア大会開会式への出席のため訪韓した。

朴大統領は森氏に対し、「日韓議員連盟の会長などとして韓日関係の発展と交流に尽力し、政界引退後も多くの役割を果たしていると聞いている。2018年の平昌冬季五輪、20年の東京五輪とアジアで相次ぎ開かれる五輪が相乗効果を出し、共に成功するよう期待している」と述べた。さらに、「来年、韓日国交正常化50周年を迎えるにあたり、韓日両国が未来志向的関係に発展することを期待する」と強調した。

これに対し、森氏は「できるだけ早い時期に朴大統領と安倍首相もお互い笑いながら写真に収まれるようになってほしい。そのような努力をお互いしていきましょう」と要請した。

青瓦台によると、安倍首相は親書で、朴大統領に対し、「秋に開かれる国際会議に合わせてお会いできることを望む」と伝えた。秋に開催される国際会議は、10月にイタリア・ミラノで行われるアジア欧州会議（ASEM）首脳会議と、11月に中国・北京で行われるアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議があり、韓日両首脳が出席するとみられる。

親書を受け取った朴大統領は「安倍首相に感謝の意を伝えてほしい」としながらも「過去の問題の傷を治癒するため、誠意ある努力がまず行われる必要がある」と述べた。

韓日関係

発展潜在力は無限

柳大使　民団主催歓迎会で強調

第21代駐日韓国特命全権大使として8月23日に赴任した柳興洙大使夫妻を招いての民団中央本部主催在日同胞歓迎会が17日、東京都内のホテルで開かれた。中央本部の呉公太団長、金漢翊議長、韓在銀監察委員長をはじめ民団関係者を中心に450人が参加した。

呉団長は歓迎辞で、「韓日関係があまりよくない状況の中で柳大使が赴任された。在日同胞は、大使の豊富な政治経験と人脈、正義感と責任感、そして強い信念と実行力に対して大変期待している」と表明した。

呉団長は、着任に先立っての「来年（韓日修好50周年）が両国にとって、すばらしい一年となるよう、両国関係を発展させるために最善を尽くし、未来志向的な関係が進展するように、互いに努力しなければならない」とした柳大使の決意を紹介。「この場には在日同胞社会を代表する団体の人々がいる。在日同胞も大使とともに韓日関係の改善にいっそう尽力したい」と強調した。

歓迎会には、日本の与野各党国会議員も20人余りが来賓として参席した。このうち森喜朗・元首相、額賀福志郎・日韓議員連盟会長、河村建夫・日韓親善協会理事長、山口那津男・公明党代表、二階俊博・自民党総務会長、小沢一郎・生活の党の代表が祝辞を述べ、柳新大使への期待を表明するとともに両国関係の早期正常化と未来志向的な新たな関係構築に尽力することを明らかにした（2面に祝辞要旨）。

柳大使は赴任あいさつで「在日同胞は故国が厳しい時や大変な時にはいつも支援してくれ、故国の成長と発展のために大きな役割を果たした。また、韓日両国の懸け橋役となり両国関係の発展に寄与してきた」と感謝を述べた。

田内千鶴子から始まったこころの家族
素朴な願いを大切に
あなたの1万円が
故郷の家・東京をつくります
故郷の家
社会福祉法人こころの家族　本部　072-271-0881
http://www.kokorono.or.jp

第5次
21世紀の
朝鮮通信使

ソウル～東京友情ウオーク

民団の皆さん、一緒に歩きませんか！

ウオーク隊員募集のご案内

来年の２０１５年は、ちょうど日韓国交正常化５０周年の年に当たります。
かつて、日本が韓国を併合するという不幸な時代がありましたが、さらにさかのぼると両国には友好と平和の時代がありました。そのシンボルが鎖国といわれた江戸時代に１２回来日した朝鮮通信使でした。「通信」とは両国が信（よしみ）を通（かよ）わす、平和外交を意味します。
約５００人の大使節団が８ケ月から１年かけて、ソウルから東京まで約２、０００キロの道のりを往復しました。日本各地で文化交流を行い、平和と善隣友好の絆を築きました。私たちは先人の足跡をたどり「善隣友好」の精神を今の時代に甦らせたいと２年に１度ソウルから東京まで「２１世紀の朝鮮通信使　ソウル－東京　友情ウオーク」を行い、日本人、韓国人、そして在日韓国人ウオーカーが共に手を携えて歩きながら「草の根交流」を行っています。東京に着いた時には昔からの友人のようにみんなが親しくなっていました。民団のウオーカーも今まで１７人（ソウル - 東京、ソウル - 釜山・延べ人数）が参加して歩きました。
海峡をはさんで２つの国の首都を結ぶ長距離ウオークは世界にも例がありません。
全コース（ソウル－東京）などの参加者を募集します。全コース以外の参加もご相談ください。

◆主催　日本ウオーキング協会、韓国体育振興会（韓国）、朝鮮通信使縁地連絡協議会　◆主管　２１世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会
◆後援　民団中央本部など　◆期間　２０１５年４月１日（ソウル出発）～５月２２日（東京ゴール）の５２日間　◆コース　韓国＝ソウル - 忠州 - 安東 - 慶州 - 釜山　２２日間（歩行５２５キロ）日本＝対馬 - 博多 - 広島 - 大阪 - 京都 - 静岡 - 東京　３０日間（歩行６３３キロ）歩行以外の区間＝　釜山 - 対馬 - 博多（高速船）、博多 - 広島 - 大阪（貸切バス）
◆　参加条件　１日約２０キロを歩ける人（大きい荷物は伴走車で運搬します）◆募集隊員　若干名（他に日本人３０人、韓国人１０人）
◆費用　約６０万円（宿泊、食費、高速船、バス、共益費など）

お問い合わせ・申し込み先
「２１世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会」　事務局（遠藤靖夫）
〒３３６－０９３２　埼玉県さいたま市緑区中尾２７５－４
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０４８-８７４-２６３４
携帯電話　０９０-６９２０-２５４３
Ｅ-ｍａｉｌ【ｓｕ－ｎａｋａｍｕｒａ@ｓｂ．ｄｃｎｓ．ｎｅ．ｊｐ】（中村進）

日韓国交正常化50周年の喜びを分かち合いましょう！

東西南北

韓国と日本が文化交流を深める「韓日祝祭ハンマダン2014 in Seoul」が14日、ソウルのCOEX展示場で開かれた。旅客船セウォル号沈没事故による文化イベントなどへの自粛ムードも和らぎ、昨年を上回る約5万人が来場する盛況ぶりをみせた。来賓には歴代韓国外交部長官として初めて尹炳世氏が出席し、両国の関係改善への姿勢を示した。

（5面に関連記事）

10回目の韓日祝祭

「継続は力」示す 友情の証健在

▶尹炳世外交部長官＝右側＝や別所日本大使も参加した

ソウルで5万人 昨年上回る

伝統芸能、遊びも多彩に

同イベントは両国の国交正常化40周年を記念する「韓日友情年」の05年に初開催、今年で10回目。両国の市民らがボランティアとして多数参加する最大の文化交流イベントとして定着している。

09年からは日本でも開かれるようになり、今月27、28の両日、東京・日比谷公園で行われる。

今年は「おまつり10年、夢のせて」をテーマに3部構成。B・W・B&K HAN AND MOONによるロッキングダンスでオープニング。10年の歩みを綴った映像のあと、金徳洙の「サムルノリ」と永上共鳴会（陸前高田市）の氷上太鼓による合同演奏で第1部を締めくくった。

第2部と第3部では阿波踊り、沖縄の胡屋エイサー、青森ねぶた、秋田竿燈、菊の会の日本舞踊や韓流バンド、非言語パフォーマンス「ビバプ」など、新世代の芸能公演などが続いた。

また、韓国でも人気の女優、上野樹里さんが特別ゲストとして出演したほか、会場にはステージの回りに自治体、企業、体験、イベント、フードといった各種ブースが設置され、来場客を楽しませた。

韓国のユンノリ、チェギチャギ、ノルティギ、日本のけん玉、輪投げなど両国の伝統玩具や遊戯の体験ブースをはじめ、「日本のおまつり遊び」コーナーでは、金魚すくいやヨーヨー釣り、浴衣体験に行列が続いた。

このほか、14年ミス日本グランプリの沼田萌花さんとの記念写真撮影やサイン会、コスプレ体験＋ギャルメイクなど大人から子どもまでが楽しめるイベントとなった。

韓日競演によるパーカッション演奏。右は浴衣体験

韓食世界化専門人養成学校

来月9日から開講

調理師、経営者、ホールスタッフを対象とした恒例の「韓食世界化専門人養成スクール」が、10月9日の経営者セミナーを皮切りに15日間にわたって開催される。主催は「食文化の都」と言われる全羅北道の全州国際韓食調理学校。これまで主催してきた民団韓食ネット協議会はaTセンターとともに後援に回った。

韓国料理講習会では、「薬膳飲食」はじめソースと醤類の活用など、多彩なカリキュラムが盛り込まれている。経営者セミナーの講師は韓国や日本の大学で活躍する教授、助教授クラスで、いずれも日本語の講義となる。定員は先着15人。

すべて午前（9～12時）、午後（13～17時）の2回行われる。

◆経営者セミナー（港区赤坂2－13－13アーブセンタービル5F）▽9日＝韓国の韓食トレンド（午前）韓食堂成功事例、講師チョン・ヘジョン▽10日＝外食経営原論（午前）広報とマーケティング、キム・ヨンガプ▽11日＝世界外食産業トレンド（午前）効率的人材管理、キム・ヨンガプ▽12日＝現地市場分析（午前）韓国食材料の活用、チェ・ソンウン▽16日＝顧客感動戦略（午前）顧客応対法、イ・ヨンスク▽18日＝コミュニケーション（午前）ロールプレイング、イ・ミファ▽19日＝職員教育（午前午後とも）、イ・ミファ▽23日＝衛生教育（午前）韓食ストーリーテリング、チョ・ヘジョン

◆料理講習会（豊島区東池袋1－20－15生活産業プラザ5F）▽13日＝精進料理（午前）薬膳飲食、キム・スイン▽14日＝酵素飲食（午前）お弁当、チョン・ゲヒョン▽15日＝衛生安全教育（午前）フードスタイル、キム・スイン▽17日＝日本の韓国食材料を活用した調理法（午前）、チェ・ソンウン。日本に合った韓国飲食メニュー開発、本田朋美▽20日＝基本肉汁の理解（午前）多様な副食類、ハン・ボクチン▽21日＝ソースと醤類活用（午前）ソースと醤類活用2、ハン・ボクチン▽22日＝韓食単品1（午前）、ハン・ボクチン。韓食単品2、ユヒャンヒ

申込み方法＝FAX（03・3699・7413）またはメール（shwang0614@gmail.com）で。希望する受講科目を書き込み送信。問い合わせ＝03・3699・7412または0903・3518・2883（担当、黄世勲）

移転し新規開店

＝近畿産業梅田支店＝

【大阪】近畿産業信用組合梅田支店が8日、ビジネスの中心地である御堂筋沿い大阪駅前に移転オープンした＝写真。

交通の利便性とサービス向上へ10年にミナミに新築移転した難波支店と合わせ、御堂筋の北と南に店舗拠点を構えることで関西事業者のニーズに応えていく。大本崇博理事長は「大阪のメインストリートは数多くの金融機関が競合。近産独自の色を出し、地域密着型金融機関をめざしたい」と抱負を述べた。

新会長に野村氏

近畿経友連が総会

【大阪】近畿地区における在日韓国人経営者の親睦団体「近畿経友納税連合会」の第13回定期総会が4日、大阪市内のホテルで開かれ、新会長に野村喜広・前総務副会長を選出した。会員ら100余人が参席した。

2018年平昌 2018年東京 力あわせともに成功を

民団中央本部主催の柳興洙大使歓迎会（17日）＝写真＝での日本側来賓の祝辞はつぎの通り。（要旨・発言順）。

森喜朗・元首相（前日韓議員連盟会長）＝日韓は隣国同士。お互いに信頼しあい、そろそろ良い方向に向かってほしい。両国関係をよく知る柳氏を大使に任命した朴槿恵大統領の心を拝察。日韓関係の改善へ柳大使のためにお手伝いしなければならないと思っている。2018年平昌冬季五輪に続き20年東京五輪が開かれる。両大会を力を合わせて立派に成功させよう。

額賀福志郎・日韓議員連盟会長（元財相、自民党衆議院議員）＝両国が隣国としてきっちりと友好関係を保たねばならない。日韓の関係を正常化させて来年の修好50周年を迎えたい。日本に武士道精神があるように、韓国には「花郎道精神」があり、毅然としながら大局的な視点を持って決断できる。議連も側面から日韓関係の改善に努力したい。

河村建夫・日韓親善協会理事長（元内閣官房長官、自民党衆議院議員）＝現在の厳しい日韓関係を切り開かなければならないとの強い思いから朴大統領は柳大使を任命したと思われる。我々も強い思いに応えて今の状況を変え正常化させなければならない。そのためにはいろいろな方法が考えられる。民団の皆さんの役割も大きい。黄金時代を招くために一緒に努力していこう。

山口那津男・公明党代表＝まさにこの時期だからこそ、韓日議連で活躍し日本をよく知る柳大使の任命、着任であり、期待が高まっている。日韓関係の大いなる改善・発展のために力を合わせていきたい。政党や政治家が、議連などさまざまなパイプを活かして両国関係の改善・発展のために尽力する時だ。

小沢一郎・生活の党代表＝両国関係の厳しい状況の中で柳大使は最適任者であり、両国の親善友好を願っている大多数の日本国民の一人として、大使の活動に期待している。民団の皆さんと力を合わせ両国の友好親善を築きあげていきたい。信頼関係を築くためには、お互いの気持・主張に耳を傾けることが必要だ。そのような気持で頑張っていきたい。

二階俊博・自民党総務会長＝難しい時だからこそ、柳大使がこられた。これは天の命令であり、活躍を大いに期待している。日韓両国の国民はともに友好発展を願っている。私たちは、そのような国民の声に応えなければならない。難しい話しは少し横に置いて、両国の友好・発展のためにみんなで協力し合っていこう。

分かってます？韓国内資産 ⑦

全国相続協会相続支援センター
在日韓国人相続相談室室長　鄭相憲

相続の法律

在日には韓国法適用

分配比率で日本と大きな差

今、行政書士をしていて、相談を受けるのは相続手続・戸籍整理・帰化手続に関することがほとんどです。その中で、在日が一番理解していないのが相続問題です。そもそも遺産分割をする時の適用法律を知らないから、多い少ないと勝手に言い争い、関係のない人まで出しゃばってきます。

取り分の多い少ないでもめる時、法律が定めた相続分を理解して、納得いく分配をしなくてはいけません。そうしないといつまでも「争続」が収まりません。特に、前妻の子供や亡くなった人の兄弟姉妹が関与するようになると、収まりにくい傾向があります。

相続の資格のある人たちが円満に決めれば法律の分配率に関係なく、それが優先になります。

では、誰に、どれだけ分配するのかを決める目安が必要になります。相続の資格が誰にあるか、法律の分配比率はどうなっているかは、日本の法律とは大きく違います。

親が韓国籍なら韓国の法律適用

子供達は全員帰化して日本国籍を取得しているのに、死亡した親が韓国籍であれば、韓国法が適用されます。日本の相続法が適用されるのではありません。

夫が亡くなった場合、通常はその妻と子供が相続人です。これは韓日同じです。問題は兄弟姉妹が相続人になるような場合です。日本法では、子供がいない、夫の両親もいない場合は妻のほかに夫の兄弟姉妹も4分の1の相続資格があります。

しかし、韓国法では妻がいる限り、死者の兄弟たちには相続権はありません。妻が全部相続します。兄弟たちには出しゃばるなと言えます。

遺産の分配率も韓日で大きく違います。特に妻の取り分が顕著に違います。妻の場合だけ説明しましょう。

日本法の場合、妻は子供が何人いようと相続財産の半分を確実にもらえる権利があります。残り半分を子供達で分配します。日本法では妻の方は9000万円の相続財産に対して4500万円もらえますが、韓国法では3000万円しかもらえません。子供が多いほど分配は少なくなります。

子供がいなくて、両親がいる場合、日本法では妻が3分の2です。韓国法ではやはり両親1人ずつの1・5倍となり、少なくなります。

相続人を決める前提は韓国戸籍

韓国法の適用で相続する場合、相続人を決める大前提が韓国の戸籍です。現在は家族関係登録簿といいます。在日の場合これが正確に記載されていません。

相続でも帰化手続でも重要なものは戸籍です。父・母・夫・妻・子供・養子等の正式な身分関係が決まります。戸籍に載っていない妻は、正式な妻ではなく「内縁の妻」です。

日本の役所に婚姻届を出していても、韓国に届けていなければ戸籍に載っていない人ですから、単純に言えば相続権はありません。戸籍に載っていない子供たちも同様です。法的には相続人ではないのです。日本では結婚しているのに韓国戸籍上ではいまだ独身の在日の方が多くいます。

そのため、死者の財産に対する相続手続が止まってしまいます。具体的には日本国内の銀行預金も、不動産も相続することはできません。法務局も銀行も法的に形式が整わない申請を拒否します。

父母が健在なときに戸籍を実態に合わせて整理しておくのが一番簡単で重要です。父母の婚姻記録がないと実子として認知されません。1度自分たちの戸籍を調べてみる必要があります。若い人の多くは、たいてい海外旅行のパスポート取得時に自分が戸籍に載っていないことに気づきます。

東西南北

◆海外品評会で伝統酒受賞相次ぐ

昨年末から今年にかけて、柚子生マッコリなど韓国の伝統酒9品目が、モンドセレクションなど海外の酒類品評会で相次ぎ受賞した。伝統酒の販売が落ち込んでいたが、近年、製造・販売に挑戦する人が増え、小規模かつ多様化をめざした高級化戦略が功を奏しているようだ。大型百貨店では17種類の伝統酒専用コーナー＝写真＝を設け、秋夕用ギフトとしても人気を集めた。

◆ワタリガニ豊漁も運送手段不足

延坪島や大青島の西海5島ではワタリガニなどが豊漁だが、漁民たちは陸地運送手段不足に泣いている。セウォル号沈没事故の発生以来、貨物積載基準を厳格に守っているからだ。カーフェリーに乗船するレンタル用トラックや冷凍倉庫も不足し、漁港で「処分セール」をせざるをえない。

◆平昌で127㌔の巨大カボチャ

江原道平昌郡の農業技術センター（平昌邑余万里）の試験場で、巨大カボチャ（127㌔）＝写真＝を収穫し、話題を集めている。「マンモスカボチャ」と称されるものより40㌔以上も重い。早速、一部の企業から広報用の契約栽培に関する問い合わせが来ているという。

◆高齢化進行度、OECD中最速

産業研究院が経済協力開発機構（OECD）34カ国の「2013年人口構造」を分析した結果、韓国は65歳以上が総人口に占める割合（高齢化率）が12.2%と30番目だった。しかし、1970年の高齢化率を1とした進行度は4.0倍で最速だった。平均は1.6倍。次いで②日本3.6③フィンランド2.1④ポルトガルとイタリア2.0倍の順。

◆廃線跡の荒地に美しい散策路

2005年に一部区間が地下走行となり廃線になった京義線の線路跡地に、市民のための「森の道」計画を推進中。西大門区から竜山区を結ぶ6.3㌔に美しい散策路が造成され、変貌しつつある＝写真。

◆チェジュ航空、12月に沖縄線就航

格安航空会社（LCC）のチェジュ航空は、12月1日から仁川～沖縄線、同8日から仁川～ハノイ（ベトナム）線をそれぞれ新規就航する。いずれも週7往復。両路線を含め来年2月まで、国際線7路線の新規就航を計画中だ。

◆たばこ価格を2000㌘引き上げ

韓国政府は11日、たばこ税を1箱あたり2000㌘引き上げ、4500㌘にするとの方針を示した。引き上げによる税収は禁煙政策に使われる。企画財政部はたばこの買い占めを行った製造・販売業者や卸・小売業者に対して2年以下の懲役または5000万㌘以下の罰金に処する。

◆即席ラーメン消費量で韓国1位

世界インスタントラーメン協会が調査した「13年国別消費量」によると、韓国が1人当たり74.1個と最も多かった。5日に1個の割合で食べた計算だ。2位がインドネシアの60.3個だった。成人病を予防するには、調理の際にスープを減らし、カリウムが豊富なネギやタマネギを多く入れるのがよいという。

◆娘望む家庭増加、男児出生比最低

昨年の出生性比（女児出生数を100とした男児出生数）が105.3と、過去最低を記録した。統計庁の9日発表によると、90年の116.5をピークに減少。一般に103～107が正常範囲。第2子の性比が最も低く、第2子は娘を望む場合が多いようだ。

ウォンレート

外換銀行調べ（9月22日現在）

送金時	1万円	両替時	1万円
韓国⇒日本	94,068 ウォン	ウォン⇒円	96,932 ウォン
日本⇒韓国	92,635 ウォン	円⇒ウォン	98,365 ウォン

＜2020東京オリンピック公式テニスコート規格8面+オムニコート3面＞

青丘学院つくば中学校・高等学校
CHEONG GU HAGWON TSUKUBA
2014年4月開校！
世界に翔たく人材育成！

◆東日本最初の学校教育法第一条の韓国系中高一貫校
◆トリリンガル・全寮制・英数少人数指導　◆韓国の言語・伝統・文化・魂を次代に!

＜6つの特長＞
1.夢実現
①難関大学(医学部)進学コース②国際コース
2.トリリンガル教育
①授業は日本語②日常会話は韓国語・英語
3.週39時間授業
偏差値で年間3～5を伸ばすことを目標！
4.原則全寮制
①早朝:英語
②夜間:数学・韓国語・日本語・英語等
5.土日の特別授業
①毎週土曜日:英数国の学力確認テスト
②毎週土・日:塾講師出前授業(英語・数学)
6.文武両道
硬式テニス英才教育:世界に通じる選手育成

＜2015年度入学生募集！＞
◇募集人員:中学校100人、高校100人
◇入試説明会:10月12日(日)、11月9日(日):本校

＜1か月の納入金：中高共通＞ 計86,670円
授業料:30,000円、施設設備費:5,000円、
生徒会・保護者会費:1,670円、
寮費:20,000円、食費:30,000円
★優秀な生徒に、授業料免除・減免・その他奨学金制度あり

学校所在地
茨城県石岡市柿岡字寺田1604番地
Tel 0299-56-3266　Fax 0299-56-3277
E-Mail: info@cheonggu.ed.jp
WebSite: http://cheonggu.ed.jp

海外激安航空券
DISCOUNT AIR TICKET

関空発着 往復航空券
2014年10月1日～31日ご出発限定価格
（週末・祝祭日を除く）

ソウル	プサン	済州島
16,000円～	20,000円～	33,000円～

（1週間有効、空港税、航空保安税、燃油費別途要）

TEL：06－6281－1230　FAX：06－6281－1255

ジーエストラベル
GS TRAVEL　大阪府知事登録旅行業第3-1841号
平日 9:30～18:30　土曜 9:30～14:00
VISA MasterCard
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-13-21 和田由ビル302
地下鉄御堂筋線『心斎橋駅』⑥番出口より徒歩3分

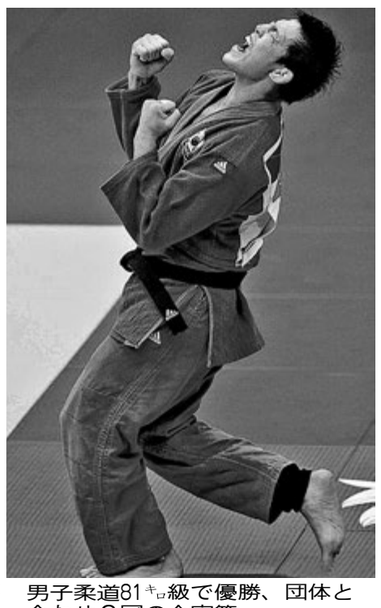
ホスト国のプライド 随所に

仁川アジア競技大会
17th Asian Games
INCHEON 2014

新人の活躍目立つ

苦手も克服 メダル伸ばす

19日に開幕した仁川アジア大会（～10月4日）で韓国は射撃、柔道、フェンシング、バドミントン、馬術などで金メダルを量産。第5日目の23日現在、金19、銀19、銅21の合計59のメダルを獲得し、中国に次いで総合2位を維持している。北韓は金3、銀4、銅7で5位。


男子柔道81キロ級で優勝、団体と合わせ２冠の金宰範

五輪王者超えた

注目は射撃界の新星、高校生の金清容(17)だ。21日に行われた男子10メートルエアピストルで個人と団体で金メダルを獲得、韓国勢初の2冠に輝いた。

高校生ながら韓国代表に選ばれた金は、大会前からメダル候補に挙げられてはいたものの、五輪金メダリストの秦鍾午(34)を超えるとは誰もが予想しなかった。

女子柔道78キロ級で２連覇の鄭敬美

大先輩で「雲の上の人」のような秦にはこれまでも多くを教えてもらい、競技前もアドバイスを受けたという。金は「自分はまだまだ。多くを学びながら挑戦し続けたい」と意欲を示し、「五輪」という目標も掲げた。

女子25メートルピストル団体でも韓国が金メダルを獲得した。金将美（21）、李貞恩(27)、郭貞恵(27)の3人が出場し1748点で2位の中国（1747点）を抑えた。

剣も強し3連覇

フェンシングは男女で奮闘した。男子エペ団体は日本と決勝戦。25－21で下して3連覇を達成した。鄭鎮善（30）、朴惇杜(30)、朴相泳(19)、権永睦(27)の韓国は準決勝でベトナムを45－25と圧倒。金メダルのかかる大一番でも実力を発揮した。鄭鎮善はエペ個人でも優勝し2冠を達成した。女子サーブル団体でも李羅振(24)、金志妍(26)、尹智秀(21)、黄ソナ(25)が強豪中国を45－41で制し初の金メダルを獲得。過去3大会連続で中国に屈したが、4度目の挑戦でアジアの頂点に立った。李羅振はサーブル個人でも金メダルを獲得した。

中国にせり勝ち初優勝した自転車男子スプリント

柔道の男女健闘

柔道は男子団体戦決勝でカザフスタンに4－1で勝ち、金メダルを獲得した。81キロ級で優勝した金宰範（29）は2冠を達成した。女子は78キロ級の鄭敬美が決勝で北韓のソル・ギョンに勝ち、2連覇を達成した。韓国柔道女子のアジア大会2連覇は初めて。

バドミントン男子団体は、世界最強の中国を3－2で下し3大会ぶりの金メダルに輝いた。

馬術の馬場馬術個人で金メダルの黄ヨンシク

馬術の馬場馬術個人で黄ヨンシク（23）が金メダルを獲得し、団体に続いて大会2冠に輝いた。黄は広州アジア大会に続き2大会連続の2冠王となった。韓国は98年のバンコク大会から5大会連続で馬場馬術の団体・個人で金メダルを獲得している。

自転車でも男子チームスプリントの決勝で中国を下し、韓国初の金メダルを獲得した。

地元でもあり、注目を集めた競泳男子自由形の朴泰桓（24）はライバルの孫楊（中国）と萩野公介（日本）の前に屈し、400メートル、200メートルともに銅メダルに終わった。

次は〝国民の妹〟

団体球技のサッカーや野球、バスケットボール、ハンドボールなどでも韓国は予選ラウンドを無難に勝ち進んでいる。同大会はこれから、最多種目の陸上をはじめ、韓国が得意とするボウリング、アーチェリー、テコンドー、ゴルフ、レスリング、ボクシングなどが始まる。

「国民の妹」として今大会の広報大使でもある孫延在が出場する新体操は10月1、2日に行われる。

女子サーブル団体で中国を破り抱き合って喜ぶ韓国チーム

射撃の男子10メートルエアピストル個人と団体で金メダルの金清容

男子エペ団体では3連覇を達成

女子25メートルピストル団体で金メダルの金将美、李貞恩、郭貞恵（左から）

馬場馬術個人で金メダルの黄ヨンシク

バドミントン男子団体は中国を下し悲願の優勝

社説 「45億人の夢 一つになるアジア」

韓日中が牽引してこそ

アジア・オリンピック評議会（OCA）に加盟する45の国・地域すべてが参加した仁川アジア大会が19日、熱戦の幕を上げた。開幕式のテーマは「45億人の夢、一つになるアジア」だ。

アジアも多事多難である。イラク北部とシリア東部では、イスラム教スンニ派の過激派組織「イスラム国」によって戦火が拡大し、米欧諸国による空爆も始まった。東アジアでは南シナ海でベトナムやフィリピンが中国と衝突・対峙している。韓国と日本、日本と中国は歴史認識や島嶼領有をめぐるアツレキを強めたまま、こう着状態から脱していない。

東アジアはかねてから、世界経済の成長センターともてはやされる一方で、大規模な軍事衝突が発生する可能性が最も高い地域ときれてきた。予測に応えるかのように、地域の有力国は軍拡に走り、自国の安保戦略を遂行すべくしのぎを削っている。

期待の仁川大会

「一つになるアジア」は絵空事と映るだけだろう。しかし、それに一歩でも近づく努力をためらうわけにはいかない。一つのルールのもとで顔を合わせ、心・技・体を競い合うスポーツは感動を呼び合い、国境を超えて人と人を近づける力があることを思い起こそう。

私たちは仁川大会に二つの期待を寄せてきた。一つは勝手ながら、韓国にとってセウォル号沈没惨事による精神的、経済的な落ち込みを挽回するきっかけになればということである。残念ながら大会への関心は低迷しているという。それでも落胆することはない。終台にするというのではなく、競技を通じてそれぞれに情を持つ生身の人間の存在を改めて体感することで、互いに国民感情を和らげて欲しいとの願いからである。

11月に中国で開催される世界経済の成長センターとなるアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会合を控え、3国の関係修復をめぐる動きが相次いだ。11日にはソウルで3国外交当局の高位級会談があり、2年以上開かれずにいる3国の外相会議と首脳会談の開催問題を論議し、「政治的葛藤があったとしても、3国の協力メカニズムが力を失ってはならない」との意思を確認したという。

活発化する折衝

韓日、日中2国間の外交当局者による交渉も頻繁だ。韓日間では12日の次官補級協議を皮切りに、尹炳世外交部長官が「韓日交流おまつり」に初めて足を運び、別所浩郎駐韓大使とこれも初めての個別会談（14日）を持った。18日には4年ぶりの文化交流局長級協議が東京で開かれ、来年の国交正常化50周年に大規模な記念文化行事を行い、それに向けて青少年など各種交流の拡充、相互理解増進のための外交フォーラムの開催に合意した。平昌・東京五輪の成功へ組織委員会どうしの定例協議も実現する見通しだ。また、来月初旬には次官級戦略対話も予定されている。

協力メカニズムの復活が見え始めたとはいえ、韓日間の焦点はやはり首脳会談にある。韓日中3国と合わせて韓日首脳会談は可能か、APEC開催ぎりぎりまで精力的な折衝が続くだろう。仁川大会の開会式に臨むため訪韓した東京五輪・パラリンピック組織委員会の会長・森喜朗元首相が朴槿恵大統領と会談し、首脳会談を実現させたいとの意向を盛った安倍晋三首相の親書を手渡したことが注目される。

柳・森氏の抱擁

仁川大会の開催直前から始まったこうした一連の動きは、3国の国民を主な対象に大会成功を願うメッセージを込めたものとも受け取れる。この意味でも、「一つになるアジア」を体現する大会として成果をあげるよう切望する。

森会長は訪韓の2日前、柳興洙新駐日大使と関係改善を公の場で誓い合った。民団主催の大使歓迎会でのことである。韓日関係の修復に心を砕いてきた民団は歓迎会を開催するにあたり、異例のことながら、「手を携え迎えよう、修交50周年、18年平昌、20年東京」のスローガンを掲げ、日韓議連で重きをなす与野党議員らを招いたのだ。

参加した民団同胞や議員らは、親交の長く深い柳大使と森元首相があたかも音信不通になり、久しぶりに再会したかのように満面の笑みで抱き合う姿を見て、尽力する決意をともにしたはずである。

韓国の論調（対訳）

政治が「作動中断」すれば極端勢力を大きくしかねない

新政治民主連合はセヌリ党と一緒にこの国の政治を率いてきた２大政党だ。現在の全体国会議員（300人）の43・３％である130人が新政治連合所属だ。新政治連合は、議員60％の同意なしではどんな法案も処理できなくさせた先進化法により国会を動かしたり止めたりする力を持っている。

そのような新政治連合が深刻な内紛に包まれた。党代表を兼任している朴映宣院内代表がセヌリ党大統領選挙キャンプで活動した人物を共同非常対策委員長に座らせようとしたのが発端だった。新政治連合内親盧と強硬派は一斉に、朴院内代表が担っている非常対策委員長はもちろん、院内代表も辞退しなければならないと主張した。すると朴院内代表は「この党では何もできるのがない」として脱党することまで考えているという。

セヌリ党もまたまったく無策で野党の内紛を見守るだけだ。セヌリ党はセウォル号局面で無気力・無所信・無能で一貫してきた。その結果国会は、すでに５カ月間法案処理「０件」という恥ずかしい記録を続けている。

セウォル号惨事後あらわれた政治の無能・無気力とあいまって再び極端な動きが頭を上げている。セウォル号遺族および関連団体の座り込み、これに対抗する反対デモが連日衝突するソウル光化門広場が代表的な症状だ。

ある国家と社会が大型災難後どれくらい早期にその傷を癒し正常に戻るかという復原力は、該当共同体の健康性を示す指標だ。この国は6・25戦争をはじめ、IMF金融危機など多くの国家的危機を克服してきた。セウォル号惨事だけが例外になってはならない。政治が本来の役割を取り戻すことが急務だ。政治が国家の復原力を遮る障害物になっている今の現実は「政党の自滅」を越えて「政治の自滅」にもつながりうる国家的危機状況だ。

（朝鮮日報９月16日社説）

政治が‘作動 중단’빠지면 극단 세력 커질 수밖에 없다

새정치민주연합은 새누리당과 더불어 이 나라 정치를 이끌어 온 양대정당이다. 현재 전체 국회의원(300명)의 43.3%인 130명이 새정치연합 소속이다. 새정치연합은 의원 60%의 동의 없이는 어떤 법안도 처리할 수 없게 만든 선진화법에 따라 국회를 움직이거나 세울 힘을 갖고 있다.

그런 새정치연합이 극심한 내분에 휩싸였다. 당대표를 겸임하고 있는 박영선 원내대표가 새누리당 대선 캠프에서 활동했던 인사를 공동 비상대책위원장에 앉히려 한 게 발단이었다. 새정치연합 내 친노와 강경파들은 일제히 박 원내대표가 맡고 있는 비대위원장은 물론 원내대표도 사퇴해야 한다고 주장했다. 그러자 박 원내대표는 '이 당에선 아무것도 할 수 있는 게 없다'며 탈당하는 문제까지 고민하고 있다고 한다.

새누리당 역시 속수무책으로 야당의 내분을 지켜볼 뿐이다. 새누리당은 세월호 국면 내내 무기력·무소신·무능으로 일관해 왔다. 그 결과 국회는 이미 다섯 달째 법안 처리 '0건'이라는 부끄러운 기록을 이어가고 있다.

세월호 참사 후 드러난 정치의 무능·무기력과 맞물려 또다시 극단의 움직임이 고개를 들고 있다. 세월호 유족 및 관련 단체들의 농성, 이에 맞서는 반대 시위가 연일 충돌하는 서울 광화문광장이 대표적인 증상이다.

한 국가와 사회가 대형 재난 후 얼마나 빠른 시일 안에 그 상처를 딛고 정상으로 되돌아오느냐 하는 복원력은 해당 공동체의 건강성을 보여주는 지표다. 이 나라는 6·25 전쟁을 비롯, IMF 금융 위기 등 숱한 국가적 위기를 딛고 넘어왔다. 세월호 참사만 예외가 되어선 안 된다. 정치가 제자리를 찾아가는 것이 급선무다. 정치가 국가의 복원력을 가로막는 장애물이 되고 있는 지금의 현실은 '정당의 자멸'을 넘어 '정치의 자멸'로 이어질 수도 있는 국가적 위기 상황이다.

（조선일보９月16日 사설）

預金は『韓信協』会員信用組合へ

“同胞皆様へのご奉仕”をモットーに地域社会に密着したきめ細やかなサービスで皆様の事業をお手伝いいたします。

在日韓国人信用組合協会

会　長　呉　龍　夫

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-17-1　虎ノ門5森ビル4F
TEL 03-3596-1200　FAX 03-3596-1201

韓食世界化専門人養成スクール参加者募集！

10月9日スタート。受講料無料。講義はすべて午前と午後の２回。先着15名限り。

《経営者・ホールスタッフセミナー》
会場：東京都港区赤坂2-13-13 アープセンタービル5F

９日＝韓国の韓食トレンド（午前）。韓食堂成功事例
10日＝外食経営原論（午前）。広報とマーケティング
11日＝世界外食産業トレンド（午前）。効率的人材管理
12日＝現地市場分析（午前）。韓国食材料の活用
16日＝顧客感動戦略（午前）。顧客応対法
18日＝コミュニケーション（午前。）ロールプレイング
19日＝職員教育 （午前午後とも）
23日＝衛生教育（午前。）韓食ストーリーテリング

＊講師はいずれも韓国、日本の大学で専門学部を担当する教授、助教授で講義は日本語です。

《韓国料理講習会》
会場：東京都豊島区東池袋１-20-15 生活産業プラザ5F

13日＝精進料理（午前）。薬膳飲食
14日＝酵素飲食（午前）。お弁当
15日＝衛生安全教育（午前）。フードスタイル
17日＝日本の韓国食材料を活用した調理法（午前）。日本に合った韓国飲食メニュー開発
20日＝基本肉汁の理解（午前）。多様な副食類
21日＝ソースと醤類活用（午前）。ソースと醤類活用２
22日＝韓食単品１（午前）。韓食単品2

＊講師は全州大学韓食調理学科の教授、副教授、または日本で活躍している韓国料理の研究家です。

申込み方法＝ＦＡＸ（03-3699-7413）またはメール（shhwang0614@gmail.com）で希望する受講科目を書き込み送信して下さい。問合せ先＝０３・３６９９・７４１２または０９０・３５１８・２８８３（担当はファンセフン）

66年ぶり発見の建青ポスター

神戸市立博物館で展示

ＪＲが公的価値認め寄贈

会場を訪れた民団兵庫本部の李圭燮副団長

【兵庫】ＪＲ元町駅西の高架下商店街（神戸市中央区）から昨年1月、66年ぶりに発見された朝鮮建国促進青年同盟（略称、建青）兵庫県本部のポスターが神戸市立博物館で展示されている。ポスターの公的価値を認めたＪＲが、専門家の手を借りてコンクリート壁から慎重にはがし、修復、表装作業を施したうえで同博物館に寄贈した。

朝鮮建国促進青年同盟「新朝鮮建設同盟（建同）」とともに現在の民団の母胎となった組織の一つ。略称「建青」。同中央本部は1945年11月16日、東京芝区田村町の飛行会館で発足。兵庫本部も同年12月15日、神戸・新開地のガスビルに3000人余りの同胞が参加して結成大会を挙行した。

新開地は民団兵庫本部発祥の地でもある。李副団長は「このポスターには韓半島、そして民団の歴史が凝縮されている」と感無量の面持ちだった。

展示コーナーには当時の町の様子が分かるように闇市のパネルも掲げた。解放直後の神戸もヤミ市が盛んだった。ここは敵対関係にあった在日本朝鮮人連盟（朝連）との抗争の舞台であり、中国人、台湾人も含めてしばしば乱闘事件も起きた。

朴一さん（大阪市立大学大学院教授）の父親・朴憲行さんは、武闘派集団として知られる建青尼崎「アリラン部隊」に所属していた。憲行さんから幼いころに聞いたヤミ市の様子はいまでも鮮明に記憶している。

「当時の建青は血の気の多い人が多かった。日本の警察も手が出せないほどの治外法権状態のなか、ヤミ市で活動の担い手となって蓄財し、その豊富な資金をもとに勢力を拡大していったと聞いた。46年11月の尼崎支部結成には後に民団の中央本部初代団長となる朴烈さんや当時のヒーロー的存在だった歌手の小畑実さんを呼んだ。それだけの力があったということだ」

10月5日まで（29日は休館）。神戸市立博物館（078・391・0035）。なお、同ポスターのレプリカは民団兵庫本部（車得龍団長）と日本の市民団体の協力のもと、東京の在日韓人歴史資料館に寄託された。同じく、一般社団法人神戸コリア教育文化センターにも保管されている。

〝捨てるのはもったいない〟

マッコリ酒粕の魅力再発見

生マッコリをしぼった後の酒かすはヨーグルト状で乳酸菌が生きており、栄養価も高い。捨ててしまうのはもったいないと、マッコリ協会（金在浩会長、東京・新宿区）が13日、新宿区内で料理への活用を提案した。

イベントは「マッコリ酒粕～ペウギ（学び）」と命名。同会の主要メンバーで、在日3世のマッコリ美食研究家、朴理愛さんが指導した。

材料はピクルスにきゅうり、にんじんといった各種の野菜。密閉瓶の底に酒麹の土台を敷き、酢と蜂蜜、ニンニク、たかのつめ、粒胡椒を加えた。仕上がりは彩り豊か。常温で2日間、さらに冷蔵庫に入れて1～2週間が食べごろだという。

また、ポークソテーに使うと肉質を変え、冷めても風味豊かになることもわかった。試食したイベント参加者は「うーん、柔らかい」と納得の表情。朴さんはマッコリ酒かすを使ったハンドクリームや石鹸なども開発中。

ピクルスを中心に各種野菜を漬け終えたマッコリ協主催「ペウギ講座」の参加者たち（東京・新宿区で）

松代大本営地下壕建設工事

同胞労働者の動員「強制的に」を隠す

長野市 案内看板にテープ

【長野】長野市松代町の松代大本営象山地下壕建設工事に同胞労働者が「強制的に」携わるようになったとしてきた経緯について、管理者の長野市が再検討を始めた。市観光振興課によれば、外部から「朝鮮人の労働は強制ではなかったのではないか」との趣旨の電話やメールが届き、検討した結果だとしている。

看板には「住民及び朝鮮の人々が労働者として強制的に動員され、突貫工事をもって構築した」と記されてきた。これは長野市誌（2000年発行）や松代町史（74年発行）の記述に基づく。

市誌は「主要な労働力は、日本国内にいた朝鮮人労働者と植民地だった朝鮮半島から強制連行されてきた朝鮮人」で「多いときで7千人といわれる」と記す。町史も「朝鮮人労務者2千人が朝鮮で徴用され、釜山から富山に上陸して作業隊に加わった」としてきた。

しかし、「収入を得るために工事現場に来ていた朝鮮人もいた」との外部からの指摘も出ていた。これを受けて市内部で検討した結果、「全員が強制されたわけではない」と、昨年4月からは壕見学者に配っているパンフレットに記載されていた「強制的に」を外した。同パンフレットは90年の壕公開以来、見学者に配っているもので、これが初めての本格更新となった。

看板の文章

松代象山地下壕
第二次世界大戦の末期、軍部が本土決戦最後の拠点として、極秘のうちに、大本営、政府各省等をこの地に移すという計画のもとに、昭和十九年十一月十一日午前十一時着工翌二十年八月十五日の終戦の日までおよそ、九ヶ月の間に当時の金額で二億円の巨費と延べ三百万人ノ住民及び朝鮮人の人々が労働者として□□□□動員され、突貫工事をもって構築したもので全行程の75％が完成した。（以下略、□□□□部分は「強制的に」）

その後、パンフレットと看板の記述の整合性が問題となり、市は昨年8月から象山壕入り口に設置した案内版にテープを貼って、見えないようにしてきた。

小林秀幸・市観光振興課長補佐は8日、加藤久夫市長の定例記者会見に同席し、強制的に動員された人の一方で、収入を得るために工事現場に来た人もいたとして、「さまざまな見方があるという表現にする方向で検討する」と明らかにした。ただし、いつまでに文言を変えるかは明らかにしなかった。

加藤市長は、「テープを貼った行為は思慮を欠いた行為」とおわびの言葉を述べた。さらに10日の市議会9月定例会では、「さまざまな見解があることを認め、客観的な事実をそのまま伝えることが管理者としての誠実な姿勢」と、両論記載の方向で見直していく考えを明らかにした。

民団長野が抗議

要望書を読みあげる朴永大団長（右）

長野市によるテープ覆い隠しの事実に民団長野本部（朴永大団長）は反発。8月27日、朴団長をはじめ崔再龍顧問、金光慶議長、金眞監察委員長が長野市庁舎を訪れ、説明板を元に戻すよう求めた要望書を加藤久雄市長に宛て提出した。

朴団長らは「強制労働は祖父母たちが実際に体験してきたこと。私たちはその子孫であり、悲しい歴史的経緯によって日本に永住している在日韓国人だ。戦後69年も経って加害の歴史を見直すなんて、あってはならないこと。テープは歴史を隠すことになる」と抗議した。

さらに、「韓日関係が冷えているなか、（加害の歴史を）風化させようとしている」などと、市の対応に疑問を投げかけた。

市民団体からも

また、「松代大本営追悼碑を守る会」の塩入隆会長（県短大名誉教授）も8日、「強制的にという文言を隠したことは歴史的事実を隠蔽する行為」と市に抗議した。

関東大震災

弾圧された被虐殺同胞追悼集会

90年前の記憶新たに

関東大震災の翌年、早稲田奉仕園スコットホール（東京・新宿区西早稲田）で開かれた被虐殺同胞の追悼集会が、官憲の手で弾圧されてから今年で90年。この節目の年に当時なにがあったのかを振り返る集まりが13日、同ホールで開催され、約200人が参加した。

当時の新聞報道によれば、参加者は約800人余り。「階上階下立錐の余地なき程だった」という。ビラやスローガンの「虐殺」の2文字を伏せ字としたことでようやく開催にこぎ着けた。警官100人が隣室で見張った。

集会では「真状報告」で同胞犠牲者数に触れるなどして、何回も警官によって中断された。主催者が「われわれは同胞の霊に応えるようなことをやろうではないか」と呼びかけるや、警察は「治安妨害」と決めつけた。会場外で待機していた200人余りが「解散」を叫んでなだれ込んだため、会場は修羅場と化したときされる。

90年後のこの日の集まりは、日本基督教団の関係者5人が実行委員会共同代表を構成して呼びかけた。このうちのひとり、関田寛雄さん（牧師、青山学院大学名誉教授）は「歴史事実を掘り起こすことは日本人として辛いが、大事なこと。これなくして未来を展望できない」と開催趣旨を述べた。

まず、西崎雅夫さん（一般社団法人ほうせんか）が「東京で起きた朝鮮人虐殺事件―目撃証言を中心に」と題して講演。第2部では横井量子さん（IMAGINE21）が「かくも重き沈黙…かくも深き罪」と題して朗読劇を行った。

京都国際ベスト8

秋季高校野球2次戦　京都大会

【京都】2014年度秋季高等学校野球大会2次戦に出場した京都国際高校は21日、私立塔南高校に11回、5―4でサヨナラ勝ち。ベスト8入りを果たした。

2回戦は98年に夏の甲子園で準優勝した強豪、京都成章高校と対戦する。勝てばベスト4入り。試合は28日12時30分からあやべ球場で。

今大会の上位3校は、来春の選抜大会出場校の選出にあたって有力な資料となる秋季近畿大会（10月18日開幕・わかさスタジアム京都）に出場する。

近代同胞女性史に光

高麗博物館で企画展始まる

展示コーナーに立つ樋口雄一館長（右）とスタッフ

近代における同胞女性の歴史と歩みをパネルで振りかえる企画展「ひたむきに生きた朝鮮・韓国の女性たち」が東京・新宿のNPO法人高麗博物館（原田京子理事長、樋口雄一館長）で開催されている。

植民地支配と女子教育に否定的な儒教的規範の下で生きてきた解放前。書堂や講習会に通えたのはごく一部で、圧倒的多数が不就学を余儀なくされた。では、当時の民民の暮らしぶりはどうだったのか。在日同胞の崔蘭さん（87）からの聞き書きをもとに「崔家の嫁の一日」として紹介している。

19歳の長兄に16歳の嫁が来たのは、崔さんが3歳のとき。朝はまだ薄暗いなか起きて食事の支度をし、夫と一緒に田畑で夕方まで農作業。仕事がないときは朝から1日がかりで洗濯と糊付け。夕食後は針仕事などに追われていたという。

一方、教育の機会に恵まれた女性たちは、伝統的な価値観や慣習からの底辺で在日社会を支えてきたのは女性たちだった。そのことを知ってほしかったと話している。

展示資料は説明パネル30枚のほか、絵はがき、パンフ類など約50点。11月30日まで（12～17時、月・火曜日休館）。400円。同館（電話、FAX03・5272・3510）。

韓国総菜が並ぶ模擬店（金剛学園）

保護者、教師、児童・生徒がひとつに

「金剛マダン」

民族学級生徒を招待

【大阪】金剛学園の保護者と教師、生徒・卒業生がひとつになって楽しむ「金剛マダン」（同校PTA主催）が13日、同校運動場と体育館で開催された。6回目の今年は大阪市内にある民族学級の生徒も招待、約300人でにぎわった。

運動場でのカラオケ大会では生徒と保護者、卒業生、教師が声を合わせて大合唱する場面も見られた。成始烈校長は「保護者と生徒、卒業生と教師がひとつの家族のようにともに過ごせることがこの学校の元気の源です。学問だけではなく、心の触れ合いを通じて共に学び、成長していきたい」と述べた。

京都国際文化祭

韓服体験館にぎわう

【京都】京都国際学園でも21日、文化祭が開催され、例年以上のにぎわいを見せた。

舞台の中心は中2の韓国語劇（沈清伝）と軽音楽部によるK―POP演奏。「韓服体験館」は日本人の保護者に大人気だったことも紹介している。婦人会品川支部の結成式の写真（在日韓人歴史資料館提供）には在りし日の呉会長の姿も。婦人会東京本部（河貴明会長）が取材に協力した。

樋口館長は、「在日の戦後の歴史を見ると、社会運動家ばかりスポットがあたりがち。だが、民族的な伝統を守り、生活解放を求め、全国的な統一女性団体「槿友会」を結成するなど、女性の地位向上をめざして様々な運動を繰り広げた。こうした女性解放運動はやがて抗日運動へと発展していった。

解放後の歴史では「賢母良妻」を全面に掲げて在日本大韓民国婦人会（呉基文会長）が誕生した。今年の文化祭のテーマは「輪」。保護者、教師、生徒が文字どおりひとつの「輪」になったかのようだった。

「外国人技能実習生制度」説明

民団大阪と大阪韓商

【大阪】「外国人技能実習生制度」について在日企業にも広く知ってもらおうと、民団大阪本部（鄭鉉権団長）と大阪韓商（高英寛会長）が共催して19日、大阪市内のホテルで説明会を開いた。

外国人実習生の受け入れ窓口となっている公益財団法人国際人材育成機構（アイム・ジャパン）の井上仁人関西支局長が、制度の概要についてスライドを使って紹介した。鄭団長は「まだまだ厳しい経済環境の中、仕事に活かしビジネスの幅を広げる機会になれば」と述べた。団員や韓商会員、婦人会ら100人が参加した。

地方掲示板

10月の予定

■民団関連行事

◆東京
▽品川支部「敬老の日祝賀食事会」＝10日12時／テナム西五反▽大田支部「ゴルフ親睦会」＝16日8時半／東千葉カントリークラブ▽大田支部「マス釣り＆バーベキュー」＝18日8時／埼玉県日高市
◆神奈川
▽本部「蓮勝寺無縁仏法要祭」＝2日10時半／蓮勝寺▽本部「10月コリアマダン」＝11日11時20分・12日11時／三ッ池公園コリア庭園
◆千葉
▽本部「芋掘り会」＝25日11時／千葉市緑区辺田町
◆栃木
▽本部「民団親睦研修会」＝29～30日／鬼怒川温泉
◆茨城
▽本部・婦人会本部「10月のマダン」＝18日10時／会津若松芦ノ牧温泉
◆埼玉
▽本部「10月のマダン埼玉民団祭」＝26日11時／本部会館
◆西東京
▽本部「10月マダン」＝15～16日／ホテルラヴィエ川良
◆群馬
▽本部「長寿研修・敬老会」＝29～30日10時／伊香保▽青年会「新規青年獲得マス釣りバーベキュー」＝4日11時／沼田おくとねフィッシングパーク
◆静岡
▽本部「親子文化スクール」＝5日10時／ITF静岡テコンドー道場▽浜松支部「朝鮮通信使ワークショップ」＝6日10時半／浜名湖ロイヤルホテル▽本部「韓国文化ふれあい祭り」＝19日10時／本部会館▽東部支部「支部独自研修会」＝19～23日／韓国牙山顕忠祠、天安独立記念館など▽本部「韓国語スピーチ大会」＝26日13時半／興津生涯学習交流館
◆長野
▽松本、諏訪支部「日帰りバス旅行」＝12日5時45分／知多半島▽本部、長野韓商、長野青商「秋の合同コンペ」＝24日9時／豊科カントリー倶楽部▽本部「コリア市民祭」＝26日10時／本部会館
◆新潟
▽本部「オリニ教室」＝4日14時・18日14時／本部会館
◆宮城
▽本部「韓日文化講座・韓国料理教室」＝10日11時／本部会館▽本部「敬老祝賀会」＝18日11時半／本部会館
◆北海道
▽本部「敬老会」＝22日18時／定山渓温泉▽釧路支部「観楓会」＝25日17時半／鶴雅ウィングス「飛翔館」
◆山形
▽本部「10月のマダン」＝13日11時／馬見ヶ崎河原
◆岩手
▽本部「日韓親善懇親会」＝8日17時半／ホテル東日本盛岡
◆福島
▽本部・韓商「チャリティーゴルフコンペ」＝9日9時／大玉カントリークラブ▽本部「10月のマダン」＝21日15時／郡山市東山霊園
◆愛知
▽名南支部「料理教室」＝4日10時／支部会館▽本部「コリアンフェスタあいち」＝5日10時／三重県「輪中ドーム」▽中村支部「韓国旅行」＝13～15日／扶余など▽東中支部「相続対策センター」＝19日10時半／支部会館
◆岐阜
▽本部「敬老会」＝3日11時／ホテルグランヴェール
◆大阪
▽本部・韓商「チャリティーゴルフコンペ」＝15日8時28分／マスターズゴルフ倶楽部
◆兵庫
▽阪神支部「高齢者給食サービス・ウリチプ」＝1日11時半／支部会館▽有馬支部「韓国歌、ダンス研修会」＝5日16時・12日13時／支部会館▽西宮支部「憩いの場」＝9日10時半／支部会館▽西宮支部「いきいき体操教室」＝9日13時半／支部会館▽本部「防災の日事業」＝11日10時／本部会館▽尼崎支部「映画鑑賞会」＝18日15時／支部会館▽本部「兵庫県韓国学園連合文化祭　10月マダン」＝25日10時／ピフレホール▽西神支部「親睦韓国旅行」＝27～30日／釜山・全羅道
◆京都
▽本部「京都コリアフェスティバル」＝19日10時／京都国際学園▽南京都支部「団員親睦敬老会」＝26日11時／支部会館
◆奈良
▽本部「10月のマダン」＝14～16日／釜山・慶州▽婦人会奈良本部「敬老会」＝19日11時／ホテル日航奈良
◆滋賀
▽本部「10月マダン」＝5日9時半／矢橋帰帆島公園▽石山支部「野遊会」＝13日10時半／アグリパーク竜王
◆和歌山
▽本部・日韓親善協会「ゴルフ大会」＝16日8時／サンリゾートカントリークラブ
◆広島
▽本部「10月マダン」＝4日10時／広島中央公園▽福山支部「敬老会」＝5日11時／支部会館▽本部「カヤグム講座」＝8日13時／本部会館▽安芸支部「支部旅行」＝13～15日／釜山・慶州▽本部・韓国商工会議所・青年商工会議所・婦人会共催「韓日親善チャリティーゴルフコンペ」＝16日8時／安芸カントリークラブ
◆岡山
▽本部「コリアンフェスタin OKAYAMA」＝24～26日／市内
◆鳥取
▽本部「10月マダン」＝11日12時／風の丘
◆島根
▽本部「10月のマダン」＝11日13時／松江市国際交流会館▽本部「2014年歴史を振り返り、今を考える旅」＝24日12時～28日／ソウル・慶州・釜山
◆福岡
▽本部「在日コリアン福岡アカデミー」＝4日15時／八仙閣▽本部「プライダル事業」＝19日14時／ホテルグランドハイアット福岡
◆長崎
▽佐世保支部「敬老会」＝16日12時／龍氷亭
◆佐賀
▽実行委員会「ふれあい交流マダン」＝26日10時半／呉服元町656広場
◆熊本
▽本部「体育祭」＝19日9時／熊本県民総合運動公園
◆鹿児島
▽本部「第1回韓国語スピーチ大会」＝12日13時／霧島市多目的ホール▽本部「料理教室」＝15日11時／東高校
◆沖縄
▽本部「韓国人戦没犠牲者慰霊大祭」＝25日14時／韓国人慰霊塔公園
◆高知
▽本部「敬老会・マダン」＝5日11時／高知市天神町「チミ・ポンサ」
◆徳島
▽本部「テコンド教室」＝19日13時／とくぎんトモニプラザ▽本部「韓日交流会」＝1日12時／ソウル国都ホテル

■その他イベント

◆東京
▽実行委員会「ふるさと北区／区民まつり」北支部屋台出店＝4日11時／国際ふれあい広場▽関東体育会「オリニ　ミニサッカー大会」＝5日9時／東京韓国語学校▽韓国商工会議所「チャリティーゴルフコンペ」＝6日7時20分／東千葉カントリークラブ▽実行委員会「中野にぎわいフェスタ」＝11～12日／四季の森公園▽在日本韓国人連合会「チャリティーゴルフコンペ」＝18日6時40分／南摩城カントリークラブ▽東京韓国青年商工会「チャリティーゴルフコンペ」＝20日7時半／高坂カントリークラブ
◆神奈川
▽韓国綜合教育院「コリアンカルチャーサロン」＝14日18時半／本部会館
◆山梨
▽韓国教育財団「韓国語能力試験」＝12日9時／本部会館
◆栃木
▽日光市「日光けっこうフェスティバル」本部協賛＝11日9時／日光市運動公園スポーツ広場
◆埼玉
▽さいたま市中央区庁「さいたま市中央区民おまつり」＝18～19日10時／さいたま新都心駅けやき広場
◆三重
▽四日市市「秋の四日市まつり」＝4日13時／四日市諏訪神社▽三重県日韓親善協会「韓国語カラオケ教室」＝11日13時半／本部会館▽津市・津支部「津まつり」＝11～12日／森永ビル前▽津国際交流協会・三重日韓親善協会「津市国際交流デー」＝19日11時／お城公園
◆石川
▽石川県国際交流協会「多文化が共生する県民フェスタ」＝12日10時／国際交流センター
◆兵庫
▽実行委員会「多文化交流フェスティバル」（東神戸支部　屋台出店）＝26日11時／生田川公園
◆広島
▽呉市蘭島文化財団「朝鮮通信使再現行列」＝19日10時／呉市下蒲刈
◆山口
▽駐広島総領事館「韓日友好親善ハンマダン」＝4日10時／広島中央公園
◆長崎
▽実行委員会「いさはや国際交流フェスタ」＝25日11時／栄町アーケード▽長崎県国際交流協会「ながさき国際協力交流フェスティバル」＝26日10時／出島交流会館
◆沖縄
▽那覇市「民族伝統芸能パレード」＝11日15時／国際通り
◆高知
▽国際協力機構JICA四国「国際ふれあい広場」韓国食文化紹介＝19日10時／ひろめ市場よさこい広場

歴史修正＋排外主義に歯止めを

日本の国益も損う

自治体・中央政府あげて取り組め

民論団論

朴景久　東京・著述業

在日韓国人などを対象に「殺せ！」「叩き出せ！」などと叫びながら過激な街宣を繰り返すヘイトスピーチ（憎悪表現）集団は、日本社会にとってあまりに異様で異質であるがゆえに、いずれ消滅していく。

後退する日本

こんな見方をする人々は今も少なくない。私もそのように考えるか、思い込もうとした時期があった。しかし、日本は一線を越えた。レイシズムの淵源となる偏狭なナショナリズムに対する抑止能力は、懸命に努力しなければ維持できない。その努力を支える社会的な意欲・見識は明らかに後退している。

ヘイトS集団は日本社会のなかで、異様に映っても決して異質ではなく、孤立しているわけでもない。日本内外でほぼ同時に起きた地殻変動を背景にした、政官民の横断的な歴史修正主義運動の亜種・変種ではなく、れっきとした産物と見る必要がある。

東西冷戦の終焉（90年）が流動化させた国際的な政治・安保秩序は、米国による一極支配時代を経て多極化に移行した。日本は国際環境の不安定な新展開を前にして、バブル崩壊（91）にともなうデフレにはまったまま経済を長期停滞させ、55年体制に終止符を打って政界再編という名の合従連衡を常態化させ、政治的にも低迷した。

その過程で日本は、巨大化した中国との軍事衝突をも想定せざるを得ない摩擦、核兵器開発を進める北韓からの脅威に戸惑い、厳しい対日姿勢を崩さない韓国への不信を増幅させてきた。東アジアの地政学的構造に根差す危機意識を募らせてきたと言える。

攻撃が陰湿化

日本でよく言われる「失われた20年」には、デフレによる資産（価値）消失だけでなく、政治指導力の劣化が含まれる。そうした自信喪失の反動の上に、「日本を取り戻す」をキャッチフレーズにした現在の第2次安倍晋三政権がある。

「（強い）日本を取り戻す」要諦は優越史観の普及にあり、その主たる障害となってきた国内の「自虐史観」勢力や韓国との歴史闘争に勝たねばならない。こうした歴史修正主義の動きは90年代前半から本格化したとはいえ、それでもしばらくは右派論壇による世論工作と歴史教科書の記述改訂のレベルにとどまっていた。

韓日間の歴史認識をめぐる葛藤は時を追って強まりながらも、半面では韓国ドラマ人気が火をつけた韓流が社会現象となり、97年末のIMF危機を大胆な構造改革で克服し、再びの経済躍進を見せる韓国に「学べ」と呼びかけるメディアも目立った。嫌韓と好韓が併存していたのだ。

今はあきれるほどに変貌し、韓国に対する罵詈雑言がメディアにあふれている。嫌韓は勢いづくきっかけを待っていただけのことである。過激な街宣を繰り返すヘイトS集団だけに耳目を奪われてはいけない。韓国とそれに連なる在日への陰湿で執拗な攻撃が広がっている。

植民地政策によって犠牲となった同胞を悼む施設が撤去を、あるいは「強制連行」や「強制労働」の字句削除を、日本各地で迫られている。関東大震災時の大量虐殺さえなかったことにする圧力も顕著だ。同胞の原爆犠牲者を祀る広島の施設は傷つけられ、長崎では慰霊碑建立さえ露骨な妨害を受けている。

法規制も限界

自分たちが描く歴史に異を唱える存在自体を抹消したいのだ。ヘイトSを法的に規制しても、あるいは韓日関係が好転しても、こうした動向を抑制するには限界がある。歴史修正主義と排外主義の連動を放置すれば、日本は二つの側面で深刻な事態に直面するだろう。

一つは、排外主義が勢いとその対象を拡大して国政を大きく左右する恐れであり、もう二つは、東アジアの地政学的構造のなかで孤立し、国際社会からも信頼を失うことだ。「取り戻された日本」が国粋主義に汚染されていては本末転倒だろう。

「河野談話」や「村山談話」が日本を縛りつけているのではなく、実は日本を守る防波堤になっていたことに気づいたときはもう遅い。歴史修正主義＋排外主義の抑止に自治体・中央政府あげて取り組むべきだ。

100歳は人生の通過点

昨年上回る49人に

民団から長寿祝賀金

朴春子さん（左）の長寿を祝う（西東京）

今年、数えで100歳以上を迎えた同胞は全国で49人を数えることが各地民団の調べで分かった。昨年より10人増えたことになる。民団中央本部は全国の地方本部を通じて長寿祝賀金を贈った。

◇

民団西東京本部は19日、東京都羽村市川崎に住む今年で100歳の朴春子さん宅を訪れ、民団中央本部から託された長寿祝賀金を伝達した。

朴さんは自宅で独り暮らし。金錦愛事務局長によれば、10年前に脳梗塞で倒れるまでは西東京韓国会館に足を運び、元気にカラオケのマイクを握っていたという。いまも車いすは使わない。週4回、ヘルパーの介護を受けている。

老人特有の目立ったしわは見られず、血色もよい。近隣に住み、定期的に世話に通っているという親族のひとりは、「よく食べて、よく寝ている」のが健康の秘訣だという。民団西東京からは徐洪錫団長と金事務局長のほか、朴さんと45年前から親交のある崔順禮同議長が同行した。

また、民団宮城本部でも田炳樽団長自ら12日、数えで100歳を迎えた県内の最高齢団員、金敬河さんを仙台市内の自宅に訪ね、長寿祝賀金を伝達した。

民団福岡・小倉支部（金基浩支団長）は17日、2月14日に100歳を迎えた姜岳伊さんを市内の自宅に訪ね、長寿祝賀金と民団福岡本部からの金一封を手渡した。

姜岳伊さん（右）と金基浩支団長（小倉）

「隣国同士仲良く」

韓日祝祭ハンマダン

27～28日、東京・日比谷公園で

日本で最大級の韓日文化交流イベント「韓日祝祭ハンマダン2014in Tokyo（日韓交流おまつり）」（同実行委員会主催）が27、28の両日、東京・千代田区の日比谷公園で開催される。

今年は「心がひとつになる2日間」をテーマに両国を代表する400人近いアーティストが舞台で競演する。27日は世界的にも認められた韓日両国スターチームによるブレイクダンスが見もの。最後はコラボレーションも。28日には鳳山タルチュム保存会による仮面踊りが登場。最後はK－POPコンサートで締めくくる。

佐々木幹夫氏（右）とともに日本側の共同実行委員長を担う民団中央本部の鄭進常任顧問

常設ブースも昨年以上の充実ぶりを示す。韓国のマッコリメーカー6社が出店する試飲コーナー、婦人会東京本部が昨年に続き主管団体のひとつとして加わる韓服試着コーナー。手鏡・ペン立て・コースター作りを楽しむ韓紙工芸体験コーナーは今年も親子連れでにぎわいそうだ。両日とも11～19時30分。入場無料。

佐々木幹夫さんと共同で日本側実行委員長を務める鄭進さん（民団中央本部常任顧問）は18日、駐日韓国大使館での記者発表席上、「韓国と日本の相互理解を誰よりも切実に願う在日同胞の立場から（実行委員長を）引き受けた。仲の良い隣国になることを願う」と述べた。同広報事務局（03・5459・5452）。

食から学ぶ在日のルーツ

韓国料理に挑戦　青年会東京

青年会東京本部（李政訓会長）は21日、民団渋谷支部会館で9月の月例会として韓国料理会を開催。男女11人が参加した。

メニューはキムパ、トッポッキ、プデチゲ、マンドゥ、チヂミ、豆腐キムチの6品。

完成品が並ぶと全員で「品評会」を兼ねて会食。それぞれの力作に「いけるいける」と盛り上がった。

ホルモン焼きで　在日韓国学生会

在日韓国学生会（李紳地会長）は22日、首都圏の会員30余人を集め、「食で学ぼう在日のルーツ」をテーマに荒川区の七輪ホルモン焼き店で定例懇親会を開催した。

経営者である青年会OBからホルモン焼きと焼肉の歴史などの解説を聞きながら「昔ながらの味」を味わった。李会長は「今後も楽しいイベントを開催し、新会員を発掘していく」と話した。

昔ながらの七輪焼きを楽しむ学生たち

婦人会の役員が総出で歓迎の歌を披露（東京）

婦人会東京（河貴明会長、12日＝韓国中央会館）は75歳以上のお年寄り85人を迎え、歌と踊りでもてなした。付き添いも含め170人が楽しんだ。

「モンデソ　オシン　ソンニム（遠くからいらっしゃったお客さま）」を韓服姿の役員全員で「オンヘヤ」を国際伝統文化教室「韓国カラオケ」のメンバーがそれぞれの替え歌で軽快に歌い踊った。最後は韓国カラオケの講師が懐メロメドレーで盛り上げた。

民団横浜（高友秀支団長、13日＝県本部）は婦人会（盧在順会長）、青年会（李健司会長）、戸塚分団との共催。75歳以上の高齢者ら70人が参加。婦人会が準備した韓国料理を中心に歓談、カラオケなどを楽しんだ。

民団川崎（柳菊子支団長、13日＝市内の韓国料理店）は川崎韓国商工会議所（河泳達会長）、婦人会川崎支部（李未京会長）との合同。75歳以上の高齢者ら50人余りが参加した。

各地で敬老会　心尽くしのもてなし

民団西東京本部（徐洪錫団長、11日＝八王子市の健康ランド）は75歳以上のお年寄りにくつろぎのひとときをプレゼントした。尹愛子さん（84、八王子市）は、「古い人と会える」のを楽しみに参加したという。「仕事を忘れて旅行したり、好きなことをやっているいまがいちばん楽しい」と、語った。

民団宮城（田炳樽団長、18日＝同本部）は70～90歳までの41人の長寿を祝賀した。主管の婦人会宮城本部（孫美子会長）のメンバーが韓国舞踊を披露。婦人会有志によるフルートやサックスの演奏も会場を盛り上げた。田市内のホテル）は3支部合同。主管は福島支部で、120人が参加した。民団大阪本部から鄭鉉権団長が駆けつけ、お祝いの言葉を述べた。呂英華韓国伝統芸術院の韓国民謡に合わせて歌い踊った。

民団大阪・布施（張守男支団長、14日＝支部会館）は「同胞長寿セミナー」と題して150人を招待。民団大阪本部から梁信浩議長、金清正監察委員長がお祝いに駆けつけた。

張支団長は「自分の足で歩き、自分の手で食べ、家族と対話することで脳が活性化し、長寿につながる」と激励した。

民団大阪・吹田（李澄雄支団長、21日＝支部会館）には70歳以上のお年寄り60人が参加。李支団長が「体力をつけて100歳をめざしてください」と激励。婦人会大阪本部（金秋江会長）の文化部から舞踊部がお祝いの踊りが披露された。

民団滋賀（崔勝甲団長、17～18日、福井県芦原温泉）が開いた「敬老会健康セミナー」には民団と婦人会から69人が参加した。京都在住の高齢者向けインストラクターの禹相英さんが講演した。

婦人会滋賀（金泰順会長、13日＝同本部会館）は婦人会の会員ら50人が参加。韓国民謡のリズムとメロディーに乗せてヨガを行った。参加者は「体を動かすと気持ちがいい」と心地よさそう。これからも婦人会文化部活動の一環として取り入れていくことを検討していく。開宴にあたっては李敏子常任顧問が乾杯の音頭をとった。

民団和歌山（権逸団長、7日＝市内の会館）はお年寄り30人が参加。婦人会和歌山本部（陳京子会長）のコーラス部が懐かしい韓国民謡3曲を披露した。参加者全員に民団、婦人会、青年会、近畿産業信用組合の4団体から記念品がプレゼントされた。権団長が激励のあいさつをした。

民団岩手（金盛義団長、19日＝岩手郡のホテル）は高齢の同胞10人を招き、長寿を祝った。出席者中、最高齢の朴福順さん（89）は「この日を楽しみにしていた」と笑顔。この日の祝賀会は「10月のマダン」も兼ねた。

「アカデミー」今年も開催へ

民団福岡と平統西部

【福岡】14年度「在日コリアン福岡アカデミー」が福岡市博多区博多駅東の八仙閣本店で開催される。主催は民団福岡本部と民主平和統一諮問会議日本西部協議会。

◇

□第1回（28日）＝「在日と科学技術―科学技術は在日社会を豊かにする」洪政國・在日韓国科学技術者協会会長（前東京大学特任教授）

□第2回（10月4日）＝民主平和統一諮問会議日本西部統一講演会▽「韓半島統一のための在日同胞の役割」玄敬大・民主平和統一諮問会議首席副議長／「望ましい韓日関係の未来と課題」李鍾元・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授（国際政治学東アジア国際関係など）いずれも講演は15時から（受付は14時30分～）。講演後に懇親会。参加無料（要事前申し込み、団員以外も出席可能）。

民団福岡本部（092・431・7231）。

熱心に学ぶ役員ら

高齢化社会にAED講習会

婦人会福井本部

【福井】婦人会福井本部（韓初恵会長）はいざというとき誰でも一次救命行動がとれるようにと1日、民団本部で講習会を開いた。高齢化時代に備え、婦人会を中心に20人が参加。インストラクターから心肺蘇生術とAED（自動体外式除細動器）の使用法を約1時間かけて学んだ。

韓会長は「やってよかった。もう1回ぐらいはやっておきたい」と語った。

ヘイトSテーマ

民団岩手が対策会議

【岩手】民団岩手本部（金盛義団長）は19日、岩手郡のホテルでヘイトスピーチ対策をテーマに民団・傘下団体幹部会議を開いた。席上、『ネットと愛国』著者でジャーナリストの安田浩一さんが講演。幹部と一般団員約40人が出席した。

尹達世氏

（民団直選中央委員。壬辰倭乱研究家）19日、癌性髄膜炎のため死去。69歳。お別れ会が21日、神戸市須磨区の川嶋本店フィンカで営まれた。喪主は長男の文英氏。同志社大卒。兵庫韓国青年会会長、統一日報神戸支局長を経て韓商連常任副会長、民団兵庫本部事務局長、西神支部議長など歴任。姫路獨協大非常勤講師、大阪経済法科大客員研究員、兵庫津・朝鮮通信使を知る会代表幹事。近世韓日関係史に造詣が深い。日本における壬辰倭乱の痕跡研究を専門とし、その代表的著書『四百年の長い道』（03年。リーブル出版）のほか、『兵庫の中の朝鮮』『行基と渡来文化』など共著多数。在日同胞向け「月刊アプロ21」に「遥かなる降倭―沙也可を追跡せよ」「高麗さん物語」「百済さん物語」など連載。

布帳馬車　포장마차

ある大学の学生を二つの集団に分け、一方を囚人あるいは捕虜に、もう一方を看守あるいは警備員とする。時間がたつにつれ前者は恐れおののくようになり、後者は厳めしく残虐になっていく。この種の実験で、状況が人間を想像以上に変えてしまうことが証明されている。

同僚たちが一杯やりながら気にくわない上司をああだこうだと論評し合っている。だんだん口撃が尖鋭になって人格否定にまで及び、擁護論でも出ようものなら火に油を注ぐことになる。特定人物に対する悪口を叩いて仲間内で盛り上がった経験は、たいていの会社員が持っているはずだ。

これらは集団分極化の現象と言われるらしい。では、週刊誌を中心とする日本のメディアが日本人読者を対象に、韓国に対する憎悪をこれでもかと一方的に煽っている現実をどう見るべきか。憎韓キャンペーンの推進者は看守になりきっているかのようで、身内である日本人に憎韓感情を増幅させて集団一極化させ、自らはより残虐になっていくつもりらしい。

ところで会社員の場合、上司への悪口では意気盛んになっても、格下に対する悪口は口にしにくく盛り下がるだけだろう。その伝でとらえ直せば、日本を自画自賛してやまないメディアほど憎韓論に熱心なのはどういうわけか。もしかしたら、心底では日本に自信が持てていないのかも知れない。

それはともかく、日本の教育機関を中心に、人々を例えばヘイトスピーチ側と被害者側の二つに分け、それぞれの役を演じる機会をつくってはどうか。想像力が及ぶだけで「これが日本か」と事態の醜悪さにおののくに違いない。

日本に自信を持てていたら

（K）

★海外格安航空券★
関西国際空港発着　10月からの料金
釜山往復¥10,000～
イチオシ料金です！！
ソウル往復¥12,000～
詳しくはお電話下さい！
（いづれも空港税・燃油代等諸費用約10,000円が別途必要となります）
全世界各都市へのご旅行は弊社にご相談下さい!!
㈱ワールドエキスプレス
TEL 078-222-5050　FAX 078-222-5030
営業時間　平日 9:30 ～ 19:00　土曜 9:30 ～ 18:00　日・祝日 11:00 ～ 18:00
JR三ノ宮東口から山側すぐです。
☆ メールマガジン開設 登録は info@wexp.co.jp まで！！☆
韓国語での対応も行っております。担当：権美佳(クォン・ミカ)までご連絡下さい。

千秋電気 株式会社
代表取締役　金　豊　成
〒266-0011千葉県千葉市緑区鎌取町273
TEL043-291-5332　FAX043-291-8139

韓日またぐ 夫婦の愛

国民的画家　李仲燮

離別も 補い合って

劇団文化座　薄幸の半生描く

劇団文化座（東京・北区）は、新宿梁山泊を主宰する金守珍さんとの初共同作品『旅立つ家族』を10月3日から13日まで、東京芸術劇場シアターイースト（豊島区池袋）で上演する。韓国の国民的画家、李仲燮の半生を描いた、劇団現代劇場代表で劇作家の金義卿さんの代表作を金さんが演出。文化座代表の女優・佐々木愛さんは、李さんの日本人妻、山本方子さん(92、東京都在住、韓国名李南徳)の現在を演じる。佐々木さんは「国境を超えた2人の愛がどれだけ尊いかということを、お芝居だからこそ、伝えたい」と話す。

文学座は1942年に設立された、新劇界で2番目に古い劇団。佐々木さんが、金さんとの初コラボレーションを希望したのは、近年の演劇界で気になる存在だったからという。昨年、同座機関紙の新春対談で初対面を果たした。

今回、佐々木さんに金義卿さんの戯曲『旅立つ家族』を紹介した金さんは「金先生の作品はたくさん読んでいたが、この作品はまさに韓日の間のできごとです。仲燮の2人の子どもたちは日本で成長している。在日としては大変、興味のあるところだった」と作品選定の理由を語った。

佐々木愛さん

植民地時代を知って欲しい

仲燮は、韓国では教科書で紹介されているほど有名だが、日本ではあまり知られていない。佐々木さんは初めて戯曲を読み「非常に骨太な作品ですね。韓国の男性と日本の女性の愛の物語ですが、市民の間ではそういう繋がりがいくらでもあったわけで、そこを描けば何かできるんじゃないかと思った」と話す。

佐々木さんが、金さんにあえてお願いしていることがある。植民地という時代がわかる演出だ。「その時代の仲燮さんの手紙を見たら、あんな立派な日本語を書けることが自体がおかしいのです。こういう時代だったということが分かればいいですね」と思いを語った。

金さんは、今作で新しい仲燮という人物を浮かび上がらせるという。また、仲燮との結婚に反対することなく、渡航費用などの資金を工面して、娘の方子さんを元山に送り出した父親のシーンも新たに加えたと、演出について説明した。

金守珍さん

1951年1月から11カ月間、仲燮が家族とともに生活したのが済州島の西帰浦だ。家族で暮らした住居の近くにある「李仲燮美術館」には、作品や方子さんとやりとりした手紙が展示されている。

舞台稽古の一場面

妻子と再会の夢も空しく

ものがたり　李仲燮は植民地時代の1916年、韓半島で生まれた。幼い頃から絵を描きはじめ、牛や大地に根ざしたものに惹かれていた。35年、日本に留学。東京帝国美術学校、文化学院美術科で絵を学んだ。同院在学中に山本方子と出会う。解放間近の45年、仲燮の実家がある元山で結婚。方子は李南徳として生まれ変わり、2人の子どもを授かる。だが、妻子の健康状態が悪化、南徳と2人の子どもは日本に帰し、創作活動を続けた。日本にいる妻子と暮らすことを夢見ながらも叶わず、失意のうちに心身を病み、56年に39歳の生涯を閉じた。

金さんは「喧嘩もしているんです2人は。すごく怒っている手紙を送ったり、すねてみたり」。でも2人は「お互いになくてはならない関係。足りない自分を埋めてくれる人だったと思う。それは愛なんですよ」。

佐々木さんは父親で演出家の故佐佐木隆さんから「自分の人生は一度きりしかない」ということを言われてきた。

「この舞台を観た方たちが、一度きりの人生だと思ったら、もっと人を愛さなきゃとか、もっといろいろなことを理解しなければということを思ってくれたらいい。そして、心の奥底が震えて、生きて行く原動力になっていただけたら一番嬉しい」

最後に金さんは「方子さんのご家族が、この舞台を観て幸せになってほしい、そうしたら仲燮さんも生き返るんです」と話した。

一般5500円、Uシート4000円（平日のみ）、高校生以下2750円。上演時間は要確認。

チケット申し込み・問い合わせは同座（03・3828・2216）。

韓流ファン必見!!

フィルムフェスタで7作上映

来月・東京で

新大久保ドラマ&映画祭スピンオフ企画「秋の韓流フィルムフェスティバル（略称KFF）」が10月4日から10日まで、開館30年を迎えた東京・品川区のキネカ大森で開かれる。3月21日から30日にかけて開催された「新大久保ドラマ&映画祭」（東京・新宿区）で日本初公開されたレアな韓国映画4本に加え、会期中に実施した観客アンケートでリバイバル上映の要望が高かった3本の合わせて7本を上映する。

オープニング上映作の「愛のバトン」＝写真＝は、自殺を決意した元KPOPガールズグループのメンバーと、小児がんを克服して新しい人生を生きる若者の出会いを軸にしたヒューマンドラマ。主演はイム・ジギュ、シム・イヨンほか。

クロージング上映作の「マイ・ラティマ」は、社会になじめない男スンと、パク・ジスほか。

また、広報大使キム・ヨンとタイからの移民女性が織りなすラブストーリー。主演はペ・スビンとタイからの移民女性が織りなすラブストーリー。主演はペ・スビン、パク・ジスほか。

シフの初主演映画「スティール・コールド・ウィンター」は、些細な失言によって友を死なせた少年と、噂に傷つく少女の繊細な感情と狂気を描いた恋愛ドラマ。

このほか、「夜の女王」「怒りの倫理学」「結婚前夜～マリッジブルー～」「殺人の告白」を上映する。

会期中、「隣人―The Neighbors」のDVDを抽選で3人に、スカルプ韓方シャンプーを毎日先着20人にプレゼントする。

チケットは1300円。27日からキネカ大森（http://www.ttcg.jp/cineka_omori/）窓口で全日程分を発売。上映時間などは要確認。

問い合わせは同フェスティバルプロジェクトチーム（電話&FAX03・3463・2421）。

韓国初の児童映画

「授業料」プリント入手

映像資料院

韓国映像資料院は16日、「今年6月、中国電影資料館から韓国初の児童映画『授業料』＝写真＝の35㎜プリント複写本を入手した」と発表した。

映画は植民地時代の1940年、チェ・インギュとパン・ハンジュン監督によって制作されたもの。また同院は最近、早稲田大学演劇博物館からシナリオも見つけ、3カ月余りかけて映像とサウンドの復元を終えた。

「授業料」は、「青春の十字路」（1932）、「迷夢」（1936）、「沈清」（1937）、「軍用列車」（1938）に続き現存する劇映画のうち6番目に古い作品になった。解放以前に制作された157本の韓国映画のうち、現存する作品は15本になる。

「授業料」は京城日報の「京日小学生新聞」公募で朝鮮総督賞を受けた光州の北町小学校4年の禹寿栄が書いた作文を土台にしている。日本人シナリオ作家の八木保太郎が脚色し、作家の柳致真が韓国語のセリフを手がけた。両親が行商に出た後、病にかかったおばあさんと暮らす少年が、授業料を払えず苦労する姿が描かれている。

イ・ビョンフン同院院長は「植民地の朝鮮の悲しい風景が映画にそのまま現れている」と語った。

「ザ・テノール 真実の愛」

来月・全国公開

韓国人テノール、ベー・チェチョル（裴宰徹）さんの実話を題材にした韓日合作映画「ザ・テノール　真実の愛」が10月11日、全国で公開される。

「アジア史上、最高のテノール」と称されたベーさんは2005年、甲状腺がんの宣告を受け、がん摘出手術の際に声帯と横隔膜の神経を切断、声を失った。だが、彼の声を愛した日本人音楽プロデューサーが手を差し伸べ、ベーさんは日本で声帯機能回復手術を受け、奇跡的な復活を遂げた。

映画では、支え続けた日本人たちとベーさんの家族の姿が描かれている。

ベーさんを演じるのは、映画監督としても注目を集めている韓国のホープ、ユ・ジテさん。親友の音楽プロデューサー、沢田幸司を演じたのは、伊勢谷友介さん。献身的にベーさんを支える沢田を熱演した。脚本・監督はキム・サンマンさん。

6月19日、世界初上映となるワールドプレミア試写会を上海で行い、注目を集めた。10月2日から11月まで開催される、第19回釜山国際映画祭で正式上映（パノラマ部門）される。

詳細は公式サイト（http://the-tenor.com/）。

風はるか

ぐるっと韓国歴史紀行

多胡　吉郎

37

蔚山（ウルサン）から南下して1時間、田舎道でバスは止まった。案内板に従って進み、農家の裏手にまわって驚いた。山の頂きに向け石垣が一直線に伸びている。登り石垣と呼ばれる独特な築城方式だ。

西生浦倭城（ソセンポウェソン）―。壬辰倭乱（イムジンウェラン）（文禄慶長の役）の際、秀吉軍は朝鮮南岸に30を超す城（倭城）を築いたが、その中で最大規模となる。1593年に加藤清正が築城し、海抜133㍍の山頂に天守閣を含む本丸が、海に向かう東斜面の山腹に二の丸が、麓に三の丸が置かれた。

入り口に管理事務所がありガイド氏が山頂まで案内してくれる。ポイントごとに解説板が置かれ、韓日両国語で記されているのがありがたい。

解説板には登り石垣を始め、日本での城ブームで耳にする専門用語が度々登場する。何せこの西生浦倭城、戦国時代の山城の面影を残しつ

心理戦の舞台、西生浦倭城

つ、江戸時代の平城につなぐ時期の築城技術を結集した歴史的価値の高い城なのだ。

とはいえ、韓国人から見れば祖国を侵した敵軍の砦だった所である。蔚山市から派遣された女性ガイド氏に「日本が建てたので複雑な感情もあるでしょう?」と尋ねてみたが、「壬辰倭乱の後、朝鮮人戦死者を慰霊する蒼表堂（チョンピョドン）が建てられましたが、日帝時代に壊されてしまいました」と、倭城の是非を避けるように答えた。私が尋ねたような疑問は既に何度となく問われた上で、蔚山市は歴史スポットとして整備を決めたのだろう。

小道をしばらく登ると、大手口が現れた。ここから山頂に向け、いよいよ城跡は密度を濃くしてゆく。門や櫓など建物は既にないが、石垣はほぼそのままに残っている。築城名人と言われた加藤清正の手になるだけに、防禦の工夫が随所に見られる。虎口（ココウ）（敵兵を左右に振らせて惑わせる空間）を形成する石垣の自在な組み合わせや、上に行くほど傾斜が鋭くなる石垣の積み方など、清正が帰国後に建てた熊本城の原型がここにあることを実感させられる。

1594年、一人の朝鮮人僧侶がこの城を訪ねた。四溟堂惟政（シメイドウイジョン）（松雲大師（ソンウンデサ））―。義僧兵の指揮官でもあり、戦後には日本を訪れ、徳川家康と交渉して民間被虜者の帰還を成功させた人物であるが、清正は「朝鮮では貴公だけが偽りがない」と信頼を寄せ、交渉を重ねた。

実はこの頃、小西行長が明の沈惟敬とともに独自に和議を探っていた。明の皇女が天皇の妃となることや朝鮮南部の割譲など、秀吉の示す講和条件がおよそ受け入れられないものと知って、敢て秀吉を騙してでも停戦に持ち込もうとしていた。

この交渉に疑問を抱いた朝鮮政府は惟政を派遣して清正から秀吉の本音を聞き出し、小西の虚偽を知る。清正は小西が秀吉の意に反して交渉を進めている事実を知って驚愕し、その奸計（かんけい）を憎んだ。清正と小西、そして小西の背後にいる石田三成との対立は決定的となり、これが後に関ヶ原の戦いの遠因となっていく。

城塞は完膚なきまでに堅固であった。しかし一人の外交僧を送り込んだことで心理戦が功を奏し、秀吉軍に大きな亀裂が生じた。歴史舞台としての西生浦倭城の存在意義は、幾重にもひだを重ね、奥深い。（作家）

複雑に石垣を配した西生浦倭城（蔚山市）

企画展

◆高麗美術館2014年秋の企画展「あなたが選ぶ高麗美術館の美」

10月4日～12月23日。同館（京都・北区）。10～17時。休館月曜日（ただし10月13日、11月3・24日は開館、10月14日、11月4日、25日は休館）。一般500円ほか。

白磁壺（17世紀後半、コレクション第1号）、青花白磁壺（18世紀）＝写真＝、鵲虎図（19世紀）などを含む書画、陶磁、木工品、仏教美術をはじめとした広範な同館・鄭詔文コレクション1700点から約120点を展示。

来館者に「私のお気に入りベスト3」を選んでもらい、来年度開催の「高麗美術館、私のお気に入り名品展（仮称）」の企画を構成する。

〈関連事業〉高麗美術館研究講座＝「小倉紀蔵先生、白熱2時間講義」。10月25日、11月29日、12月20日。いずれも13時半～15時半。会場は同館マダン。定員各回80人。参加費各回1000円、電話で事前申し込み（075・494・2238）。

工芸美術展

◆一古往今来―高麗李朝工芸美術展

10月2～11日。赤坂游ギャラリー（東京・千代田区）。11～19時開廊。

高麗時代（918～1392年）から朝鮮朝時代（1392～1910年）の青磁、粉青沙器、白磁、青化（染付）などの陶磁器を中心に、青銅、銀造作品も含めた35点を展示。

なかでも陵花形の枠に山水図が描かれた青化、窓絵山水文壷＝写真＝など、歴史的文物の要素を持つ一級の美術工芸品も紹介。

問い合わせは同ギャラリー（03・3595・7111）。

特別展

◆没後50年／特別展「浅川伯教をよむ～朝鮮古陶磁の神さま、その源流」

11月3日まで。浅川伯教・巧兄弟資料館（山梨・北杜市）。9時半～17時。毎月曜日休館（祝日の場合は翌日）、月末最終平日の30日、10月31日は休館。一般200円ほか。

教員時代の授業案、親族への書簡、俳句・短歌・自作の陶磁器や絵画に現れた「伯教をよむ」ことで、地道な努力の下に情熱的に生きぬいた伯教の心の源流を探る。

〈関連企画〉10月4日／伯教の講演「朝鮮古陶器の研究に就きて」（1934年）。朗読はコメディ・オブ・イエスタディ（主宰＝水木亮）。要事前申し込み、要観覧券。

問い合わせは同館（0551・42・1447）。

オペラ

◆チョン・ウォルソン（田月仙）プロデュース公演

10月25日。HAKUJU HALL（東京・渋谷区）。18時開演。前売り5000円、当日5500円。チケット申し込みはカラフネット（03・3366・1229）。

多国籍キャストによる新感覚オペラ。第1部は韓日露の歌曲を紹介。ロシアのカレイスキー（高麗人）よったア田＝自フ掘、今回は日本初演。第2部ではリアヴェリモ（真実主義）オペラの傑作「カヴァレリア・ルスティカーナ（田舎の騎士道）」を披露。田さんは、薄幸のヒロイン、トゥッツァを演じる。

出演はロベルト・ディ・カンディド（テナー）、ロシアの新星ウィタリ・ユニュマノフ（バリトン）、富永峻（ピアニスト）。

問い合わせはカラフネット。

フォーラム

◆国際フォーラム「20世紀前半、二重空間の韓国に生きた日韓の美術家たち」

10月11日。韓国文化院ハンマダンホール（東京・新宿区）。10～16時半開演。申し込み不要。無料。

日本近現代美術史、韓国近現代美術史それぞれの文脈で、別個に把握されてきた両地域にまたがる美術活動、美術作品、美術家についての研究報告などを紹介する。

講師は金惠信（青山学院大学講師）、冨井正憲（漢陽大学建築学部客員教授）、黄ピンナ（誠信女子大学講師）ほか。コメンテーターは川村湊（法政大学国際文化学部教授）、外村大（東京大学大学院総合文化研究科准教授）。

問い合わせは「『朝鮮』を描く（仮称）」展研究会（090・2814・7480）。

みんだん生活相談センター

民団では生活者団体として同胞生活に密着した切実な問題（税務、法律、相続、戸籍整理等）の解決に適切に対応するため、各分野の専門家で構成された相談体制「みんだん生活相談センター」を運営しています。

団員の皆さんの悩みや困っていることについて、専門相談員が相談をお受けしています。相談費用は無料で、秘密は厳守します。どうぞ、最寄の民団にお立ち寄りください。

■ 韓国民団は、在日韓国人の生活者団体です。
私たちは正式名称を在日本大韓民国民団（略称…韓国民団）と称し、在日韓国人の為の生活者団体です。日頃は、在日韓国人の権益擁護と民生安定、経済発展や文化・教育の向上、そして日本の方を始めとした皆様との国際交流・友好親善に向けた諸般活動を推進しています。

【相談方法】
●電話による相談
●予約制による面談
●地方センターでの面談
いずれも事前に予約が必要で必要です

【相談内容】
■各種法律
■税務
■相続
■戸籍整理
■在留資格
■国際結婚・離婚
■不動産　その他

【専門相談員】
●相談員（行政書士、税理士、弁護士、司法書士）による無料相談です。（1人1回30分）
●月～金（13時～16時）

【相談受付日時】
●月～金（10時～16時）

【専門サイトも開設】
●「みんだん生活相談センター」では事例集などを紹介するホームページも開設。

みんだん生活相談センター
東京都港区南麻布 1-7-32　〒106-8585
在日本大韓民国民団中央会館別館７階
TEL 03(3454)4911　FAX 03(3454)4632

地方センター
●みんだん生活相談センター おかやま　086(225)0826
●みんだん生活相談センター みやぎ　022(263)6961
●みんだん生活相談センター ふくおか　092(431)7231